

令和6年度事業報告

令和6年度の事業は、事業計画に基づき、次のとおり実施しました（下線部は本年度の特記事項です。）。

1. 積極的な各種活動と情報の発信、組織運営の透明化

基本方針として掲げた「積極的な各種活動と情報の発信」及び「組織運営の透明化」を2本の柱に、組織の活性化と信頼回復を引き続き進めるべく、以下の施策を進めました。

- （1）2026年の「JARL 創立 100 周年」及び2027年の「日本におけるアマチュア無線 100 周年」に向けて、各種企画の準備を進めています。
- （2）社員総会の社員からの準備書面（事前質問）に対する書面での回答を社員ごとに JARL Web に公表するとともに、役員・役員候補者からの回答も JARL Web に公表するなど、社員総会の情報公開を進めました。
- （3）組織運営を柔軟かつ効率的におこなうために常務理事を新設しました。
- （4）組織の強靱化のための総合的な改革案を検討する「組織強靱化・コンプライアンス委員会」を新設しました。
- （5）役員（理事・監事）と社員、支部長との情報交換・意見交換を目的としたメーリングリストを開設しました。
- （6）地方組織の円滑な運営に資することを目的として「地方本部長・支部長連絡会議」を設置しました。
- （7）理事会の議論を活性化させるため、理事会規程を改正しました。理事会報告に各理事の詳細な意見と賛否を明記し、委員会報告の公表等、執行部による意思決定の公開を引き続き進めました。
- （8）令和7年4月13日開幕の「大阪・関西万博」に記念局を出展するため、関西地方本部を中心に準備を進めました。

2. アマチュア無線活動の推進

アマチュア無線活動を推進していくための最適な情報の提供をはかるとともに、次の事業を推進しました。

（1）アマチュア無線に関する制度改善と周知

- ① 令和5年の電波法施行規則等一部改正による、アマチュア無線の体験機会や活用機会の拡大、デジタル化の推進、免許手続の迅速化や制度の簡素合理化による申請者の負担軽減・申請処理期間短縮等、本制度改正の内容を、JARL NEWS や JARL Web、JARL メールマガジンやパンフレットをはじめ、その他アマチュア無線関連の媒体、さらにハムフェアをはじめとした各地のイベント会場などを利用して、その周知広報に引き続き努めました。
- ② 体験運用の推進、青少年のアマチュア無線を通じての科学技術への興味を深めるきっかけとなる活動に取り組み、ハムフェアや各地方本部・支部で実施されるイベント、CQ 出版社主催の「体験運用の日」、ボーイスカウト公式国際行事「JOTA-JOTI」などにおいて、「体験運用推進・ニューカマー支援委員会」作成

のマニュアルやサポートのもと、各地で実際に行われる体験運用を通して新たなアマチュア無線愛好家の輪が広がるよう様々な支援を行いました。

- ③ ITU（国際電気通信連合）の無線通信部門（ITU-R）でアマチュア無線関係の議題を審議する WP5A が令和 6 年 5 月 13 日から 23 日までと 11 月 18 日から 29 日までの 2 回、ジュネーブ（スイス）で、対面とリモート会議を併用したハイブリッド会議で開催されました。この会合に政府代表団の一員として職員 1 名が 5 月会合はリモートで 11 月会合は現地参加し、アマチュア無線関連議題の検討に参加しました。
- ④ 3 年に 1 回開催される IARU 第 3 地域総会が、11 月 4 日から 8 日までバンコク（タイ）で開催され、JARL 代表団として森田会長を団長に 4 名が参加し、IARU 第 3 地域の運営方針や技術的課題などを審議しました。総会では今後 3 年間の役員の選任が行われ、JARL からは事務局長に JA1CJP 山本氏、執行委員に JA1BJI 朝生氏を推薦し、両名ともに選任されました。
- ⑤ 免許手続の一層の簡素化、国際的なアマチュア無線制度との整合等について総務省と日常的な意見交換を行いました。

（2）アマチュア無線活動の活性化

- ① アマチュア無線の周知啓発をはかるため、各地でアマチュア無線に関する各種講習会および研究会などを開催しました。ハムフェアや各地方本部で開催される地方広域ハムフェア、各支部で開催される支部大会・ハムの集いなど各催事において、地域の皆様とアマチュア無線の楽しさ・魅力を共有する活動がなされました。
- ② ハムフェア 2024 を、令和 6 年 8 月 24 日・25 日の 2 日間、会場を「有明 GYM-EX」を変更し、「アマチュア無線 de 新たな体験 in 有明」をキャッチフレーズに開催いたしました。来場者は延べ 45,000 名でした。主な催事として、クラブやビジネス団体の展示や販売、特別記念局 8J1HAM の運用、工作教室、DXCC デスク、JARL デスクなどを設置しました。イベントコーナーでは、各種講演、自作品コンテストの総務大臣賞の表彰式など多彩な催しをおこないました。新たな試みとしてサテライトステージを設け、一般募集された 23 組による各種講演がおこなわれました。イベントコーナーとサテライトステージの録画を YouTube で公開しました。JARL 特設ブースでは、体験運用コーナーにて、無資格者やビギナーに向けて体験運用の実施し、体験運用者数は 2 日間で 65 名、特別記念局 8J1HAM では 5 名の方が体験運用をおこないました。また、青少年・ビギナーの方々を中心にアマチュア無線について何でも相談できるビギナー案内コーナーを設置し、アマチュア無線に関しての質問や相談に応じました。閉会後にオンラインで「来場者アンケート」を行い、寄せられた意見は次回以降のハムフェアの企画運営に生かしていきます。
- ③ モールス電信技能認定は、審査と認定証の発行を行いました。
- ④ コンテストは、**別表 2** のとおり 6 種類実施し、コンテスト・アワードの発行やコンテスト参加記念楯制度を推進するとともに、JARL Web のコンテストのページからダウンロードできる「コンテスト参加証」についても、多くの参加局にご利用いただいています。今年の QS0 パーティも、熱心な方々に多数ご参加いただきました。
- ⑤ アワード発行は、**別表 3** のとおり国内アマチュア局 1,235 枚、SWL42 枚、海外アマチュア局 138 枚の合計 1,415 枚の発行となりました。また、D-STAR アワードは全賞あわせて 9 枚を発行しました。なお、JARL アワードマスターは、12 件の

認定証を発行しました。WAC アワードの代行申請を 53 件行いました。

DXCC フィールドチェックについては、今年開催されたハムフェア会場でのチェックとあわせて、369 件の申請を受け付けました。

「よみうりアワード」を継承したアワードとなる「JARL 全日本 10,000 局」アワードは全賞あわせて 6 枚、「JARL 全世界 10,000 局」は全賞あわせて 8 枚を発行しました。また、ハムフェア 2024 の会場において、令和 5 年度に本アワードを発行した 12 名の方の総務大臣賞の授与式を行いました。

- ⑥ レピータ局およびビーコン局は、**別表 4** のとおり開設・運用しました。
- ⑦ D-STAR レピータは、レピータ局のゲートウェイを介した海外接続を継続し、利用動向および改善点などの検討や情報収集を行いました。
- ⑧ D-STAR ユーザー局は、引き続き管理サーバーへの登録と IP 付与を行いました。
- ⑨ 特別局・特別記念局は、**別表 5** のとおり開設・運用しました。
- ⑩ 全日本 ARDF 競技大会は、令和 6 年 10 月 12・13 日（群馬県高崎市内）に開催し、136 名の参加がありました。また、地方 ARDF 競技大会は、別表 6 のとおり開催しました。
- ⑪ ARISS（国際宇宙ステーション上のアマチュア無線）プロジェクトへの支援・援助を引き続き行いました。
- ⑫ 令和 6 年 11 月 17 日、JARL（JA1RL 中央局運用委員会）では、アマチュア無線初心者向けのニューカマーセミナーを開講しました。
- ⑬ CQ 出版が主催した「体験運用の日」を後援しました。全国各地で体験運用が実施され、併せて公益財団法人ボーイスカウト日本連盟が開催した、アマチュア無線を通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し相互理解と親交を深めることを目的にした公式国際行事「JOTA-JOTI」のイベントにおいて、当連盟が全面的に協力し体験運用を通じた次世代育成支援に取り組みました。

（3）アマチュア衛星など宇宙通信の促進

- ① 「ふじ 3 号（F0-29）」は、平成 8 年 8 月 17 日に打ち上げて以来長寿命を保っています。経年変化等による不安定な運用が続いていますが、安定運用を目指し試験等を継続しています。
- ② 大学や団体などが打上げを計画している小型アマチュア衛星の開発や運用に対し、協力を行いました。

3. 電波環境のクリーン化と混信妨害の防止

日本では既に 3 億 2 千万の無線局が開設され、新しい多様な電波利用へのニーズにより周波数需要が極めて逼迫していることから、新たな電波利用システムの開発・実用化の動向を注視するとともに、アマチュア無線への混信妨害が発生することがないよう対応しています。

（1）電波利用の秩序維持

- ① 侵入電波の排除、違法・不法局の取締りなどの電波環境のクリーン化については、国への要望やアマチュア局からの電波障害対策相談への対応を行いました。
- ② アマチュア局の運用指導、電波障害防止対策の指導などを実施しました。
- ③ アマチュア局が原因で障害を受けている一般の方々からの電波障害対策への対応を行いました。
- ④ アマチュア局が受けるノイズ障害が多様化しており、それらについて情報収集

を行いました。特にインバータを使用する給湯器や太陽光発電システム、照明機器などの機器からのノイズ障害が近年増えているため、関連機関とも連携しノイズ障害の対策と防止に努めました。

- ⑤ ガイダンス局（特別業務の局）により、使用区別を逸脱（レピータ、衛星周波数を含む）している局、コールサインの送出が全くない局および業務通信を行っている局に対して、注意を喚起する電波による広報を行いました。

なお、各地方の総合通信局の電波規正局と連携し、東海4回、関西1回、四国2回、東北1回、北海道2回、北陸1回の注意喚起の広報活動を行いました。

- ⑥ バンドプランの周知用印刷物を配布するとともに、違法・不法局撲滅のための広報活動を行いました。
- ⑦ 地方本部長・支部長連絡会議のもとに「監査長分科会」が新たに設置され、監査指導業務の充実のための検討を開始しました。

(2) 電波環境のクリーン化

- ① 160m バンドおよび HF ローバンドの侵入電波については、会員からの情報提供の協力を得て、総務省、IARU などの関係機関に報告しその対応を要請しました。
- ② HF 帯のアマチュアバンドに侵入する海外の局からの侵入電波の排除をはじめ、V/UHF 帯のアマチュアバンドに出没する違法・不法局の取締り強化について、総務省へ要請しました。
- ③ JARL Web の「各総合通信局による不法無線局の取締り状況」のページにおいて、総務省の各地方総合通信局による違法局・不法局の取締り状況などの情報を掲載しました。

(3) 電波環境に関する対応

電波利用環境問題については、電波環境関連の会合に出席し情報収集とその対応を検討するなど電磁環境問題に積極的に取り組みました。

4. 会員事業の推進

会員組織である当連盟の組織基盤強化のために、次のとおり会員事業を推進しました。

(1) 会員へのサービス事業の推進

- ① アンテナ第三者賠償責任保険は、7,700 件の加入がありました。また、雷事故補償保険、傷害補償保険に加え Web 完結ガン保険の加入受付を開始した他、家電製品の割引の他、ホテル宿泊、パッケージ旅行、海外格安航空券、引越料金サービス、通信講座受講料や書籍の割引制度などの会員特典の充実に努めました。
- ② 会員への有益な情報をいち早く伝えるため、JARL Web のコンテンツの更新に努めました。
- ③ 正員と家族会員、及び社団会員が「コールサイン@jarl.com」で利用している E メール転送サービス利用者数は、令和 7 年 3 月現在 30,111 件となりました。
- ④ 会員在籍表彰として、JARL に長年継続して在籍されアマチュア無線の向上と連盟事業の発展に寄与された会員の方々を表彰し、対象の皆様にはマイページより表彰状をダウンロードしていただきました。

(2) QSL・SWLカードの転送

- ① カードの取扱処理枚数は別表 7 のとおり、国内外合わせて月平均約 60 万枚の円滑な転送に努めております。
- ② コロナ禍や FT4・FT8 などの急激な普及により QSL カードの滞留が発生しており遺憾に思っております。QSL カード転送遅延の解消のため「発行枚数見直し」へのご協力を呼びかけさせていただいた結果、到着枚数は着実に減少しております。理事会と QSL 問題対策委員会において、紙 QSL の円滑な転送や電子 QSL について、引き続き検討を行っています。
- ③ カードの発送は、郵便と佐川急便を利用しての発送ですが転送経費のより一層の効率化に努めました。
- ④ QSL ビューローからの転送カードの発送完了日を JARL Web 上で広報に努めました。

(3) 広報活動

会員および一般の方から、インターネットを活用した情報公開が強く望まれるなか、JARL のインターネット・ホームページやメールマガジンの配信などをとおして、情報の迅速かつ詳細な提供を行いました。

- ① JARL NEWS を年 4 回季刊発行し、連盟からのお知らせを始め、各地方本部、各支部、クラブの情報、その他を掲載しました。また、電子版 JARL NEWS を制作し、JARL Web の会員専用ページから会員の皆様に利用していただきました。
- ② CQ 出版社の協力で、毎月発行されている CQ ham radio 誌のうち巻末 16 ページを「FROM JARL」として、最新情報や地方本部・支部事業の情報を掲載し、JARL NEWS の補完として情報提供に努めました。
- ③ JARL Web により最新情報の提供や結果報告などを積極的に行うとともに、JARL メールマガジンを毎月 2 回配信し、最新情報の提供を行いました。メールマガジンの配信数は令和 7 年 3 月現在 32,322 件となっています。また、最新の「会員手帳」を会員の方々に閲覧いただけるよう、PDF 化した「会員手帳」の閲覧サービスを行っています。
- ④ アマチュア無線に興味を持った方へその魅力や社会に貢献することを PR するイラストを多用したパンフレット「アマチュア無線ってどんなもの？」を作成し、各種のイベントで配布するとともに、JARL Web からのダウンロードサービスも行っています。
- ⑤ これからアマチュア無線を始めようとしている方や無線従事者免許を新たに取得した方々のために、パンフレットや小冊子などを各地方本部、支部、クラブ等のイベントなどで配布しました。

(4) 関連団体との連携

- ① 当連盟、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会 (JARD)、日本アマチュア無線機器工業会 (JAIA)、CQ 出版株式会社の 4 者により令和 5 年度に設置された会議体「アマチュア無線継続的発展会議 (SD 会議)」は、今年度も引き続きアマチュア無線の継続的発展に向けた具体的取り組みと協力体制について検討を行っています。
- ② アマチュア無線家の育成や正しい運用については、JARD と協力して周知・啓発などの推進をはかりました。
- ③ JARD、JAIA の協力を得て、ビギナー向け小冊子「スタート! ハムライフ」ほかの配布を行いました。

5. 非常災害時への態勢整備

災害時に備え、つぎの対応を行いました。

- ① 非常災害の発生に備えて、可搬型発電機の保管や事務局内に各種防災用品などの整備を行いました。
- ② 「非常通信に関する基本方針ならびに非常通信実施要領」にもとづき、地方自治体と JARL 支部との災害協定締結を積極的に推進しました。また、「アマチュア局の非常通信マニュアル」を引き続き周知するとともに、啓発活動を行いました。

6. 青少年へのアマチュア無線活動の支援と身体障がい者への援助・協力

(1) 青少年のアマチュア無線活動への周知・支援

青少年へのアマチュア無線活動の周知・支援について、各地方本部および支部や関連団体との連携をはかりながら、多数の事業を実施し積極的に進めました。

登録クラブのカテゴリとして新たに「青少年クラブ」を設けました。

今年度からはボーイスカウト・ガールスカウトとの連携強化を図り、ボーイスカウトが開設する社団局を新たに会費助成制度の対象に加える改正を行いました。

- ① 青少年がアマチュア無線の楽しさや宇宙開発、通信技術への興味をかきたてる貴重な体験に触れるため、昨年に引き続き、ARISS スクールコンタクトを協力推進し、国際宇宙ステーション内の宇宙飛行士と交信を行いました。(令和6年度内は4件)
- ② 次世代にアマチュア無線を継承する青少年(22歳未満の正員または准員)への助成を行い、新規入会者127名の申請を受付けました。
- ③ 学校やボーイスカウト・ガールスカウトなどの団体が開設する社団局への助成制度により、60団体に助成をおこないました。
- ④ 毎年5月5日のこどもの日にあわせ、南極昭和基地に開設された JARL 南極局 8J1RL と、日本国内の小・中・高校生を優先して交信をおこなう「こどもの日」の特別運用を本年度も実施しました。
- ⑤ 2024年8月16日～23日にプラハ(チェコ共和国)で開催された IARU Reg. 1 の YOTA Summer Camp に、JARL の公募で選出された2名の大学生を派遣し、同 Camp の多様なプログラムを体験してもらいました。帰国直後にハムフェアのイベントコーナーで報告会を行うとともに、JARL Web、JARL NEWS に体験レポートに寄稿いただき、同 Camp の意義について広く周知しました。

(2) 身体障がい者に対する援助・協力

身体障がい者のアマチュア無線活動を充実したものとするため「点字 JARL NEWS」を発行してアマチュア無線関連情報の周知に努めました。

7. 国際協力の推進

- ① ハムフェア 2024 では、韓国 KARL とマレーシア MARTS の両連盟の出展がありました。
- ② JARL 事務局内に引き続き IARU 第3地域事務局を設置し、活動を支援しました。
- ③ IARU Reg. 3 に対し、引き続き STARS (アマチュア無線発展途上国の支援) タスクフォースの援助および侵入電波監視報告を行いました。
- ④ IARU の国際ビーコン・プロジェクトを継続して行いました。
- ⑤ IARU HF チャンピオンシップコンテストに関しては、参加する連盟本部局(HQ

- 局)を公募し、2局が参加しました。
- ⑥ アメリカのデイトン・ハムベンションやドイツのハムフェア「HAM RADIO」にJARLブースを出展し、JARLの紹介と、各国アマチュア無線家との友好親善をはかりました。
 - ⑦ 来日する及び日本在住の相互運用対象国のアマチュアの日本免許取得の支援を行いました。
 - ⑧ 2024年に開催を予定されていたIARU Reg.3 ARDF選手権大会は、開催を引き受ける団体がなかったため開催されませんでした。

8. 会員拡充への取り組み

会員数は、別表1のとおり令和7年3月7日現在、正員49,700名、社団会員1,266名、家族会員964名、准員11,104名の合計63,034名で、遺憾ながら前年同月比の会員数は1,701名の減少となりました。

旧会費前納者の方々を対象としたライフメンバー制度の利用は、令和7年3月7日現在、ライフメンバー会費(JARL NEWSとQSL転送)2,071名、QSL転送3,190名が登録されております。

個人の方を対象とした賛助会員は、169名の方から加入申出があり、アマチュア無線活動の活性化と財政改善への支援をいただいております。

会員組織である当連盟の組織基盤強化のために、上記の各施策のほか、以下の活動に取り組みました。

- ① 22歳未満の青少年を対象としたお試し入会キャンペーンを継続しました。
- ② QSLビューローに到着したQSLカードのうち、一定枚数以上のQSLカードが交信相手から届いているにもかかわらず、JARLに入会されていない方へ入会案内を送付し、入会促進を行いました。
- ③ 会員の増加をはかるため、JARL、JAIAなどと協力してパンフレット等を配布し、アマチュア無線の普及と会員増強に努めました。また、各種イベントや会合、支部からの要請等により、アマチュア無線に関するパンフレット類を配布しました。
- ④ 会員サービスの向上と新規入会者の拡大、JARL会費受付業務代行店の活性化を目指し、JARL、代行店(フレンドリーショップ)、アマチュア無線機器関連メーカーの三者協力により、無線機を購入した会員にフレンドリーショップで利用できるクーポン券をプレゼントする「JARLフレンドリーショップ会員ありがとうキャンペーン」を実施しました。

以上のほか、つぎの活動を行い円滑な事業の推進に努めました。

- ① 理事会、各種委員会、地方本部・支部行事などを別表8のとおり開催しました。
- ② 資格別門標板、アマチュア無線関係のグッズなどを頒布しました。

以上

別表 1

エ リ ア 別 会 員 数

(令和7年3月7日現在)

会員 \ エリア	関東	東海	関西	中国	四国	九州	東北	北海道	北陸	信越	合 計
正 員	18,832	6,186	6,565	2,939	1,612	3,820	3,760	2,417	1,217	2,352	49,700
社団会員	459	153	150	83	45	85	109	66	65	51	1,266
家族会員	342	131	102	54	43	79	82	63	17	51	964
准 員	3,792	1,471	1,510	862	331	794	924	460	373	587	11,104
合 計	23,425	7,941	8,327	3,938	2,031	4,778	4,875	3,006	1,672	3,041	63,034
令和6年3月比増減	-649	-200	-203	-123	-48	-146	-148	-68	-34	-82	-1,701

正 員 エ リ ア 別 増 減

(令和7年3月7日現在)

会員 \ エリア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和6年3月	19,274	6,349	6,706	3,042	1,645	3,935	3,876	2,459	1,250	2,412	50,948
令和7年3月	18,832	6,186	6,565	2,939	1,612	3,820	3,760	2,417	1,217	2,352	49,700
増 減	-442	-163	-141	-103	-33	-115	-116	-42	-33	-60	-1,248

社 団 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和7年3月7日現在)

会員 \ エリア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和6年3月	460	157	150	88	43	87	116	69	66	52	1,288
令和7年3月	459	153	150	83	45	85	109	66	65	51	1,266
増 減	-1	-4	0	-5	2	-2	-7	-3	-1	-1	-22

家 族 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和7年3月7日現在)

会員 \ エリア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和6年3月	369	138	110	54	43	82	86	71	17	48	1,018
令和7年3月	342	131	102	54	43	79	82	63	17	51	964
増 減	-27	-7	-8	0	0	-3	-4	-8	0	3	-54

准 員 エ リ ア 別 増 減

(令和7年3月7日現在)

会員 \ エリア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和6年3月	3,971	1,497	1,564	877	348	820	945	475	373	611	11,481
令和7年3月	3,792	1,471	1,510	862	331	794	924	460	373	587	11,104
増 減	-179	-26	-54	-15	-17	-26	-21	-15	0	-24	-377

コンテスト実施状況

(令和6年4月～令和7年3月)

部門種目など	シングルオペ							マルチオペ			書類提出 局合計	賞状数
コンテスト名	オール バンド	シングル バンド	ニュー カマー	シル バー	QRP	D-STAR	SWL	オール バンド	2波	ジュニア		
ALL JA コンテスト	576	934	8	177	-	-	11	74	11	16	1,807 (1,871)	286
6m&Down コンテスト	488	828	20	184	142	13	10	92	-	6	1,783 (1,739)	299
フィールド デー コンテスト	426	652	16	152	115	-	10	81	18	8	1,478 (1,496)	241
ALL ASIAN DX コンテスト	電信部門 (国内) 584 (外国) 1,180										1,764 (1,650)	436
	電話部門 (国内) 513 (外国) 905										1,418 (1,066)	411
全市全郡 コンテスト	585	816	14	174	-	-	10	68	14	7	1,688 (1,788)	303
QSO パーティ	交信部門 8,342 受信部門 302										8,644 (8,671)	8,587
合 計											18,582 (18,281)	10,563

()内は令和5年度の数字を表します。

別表 3

アワード等の発行状況

1. アワード発行数

(令和6年4月～令和7年3月)

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
A J D		139	1	26	166
W A J A		95		38	133
H A J A			3	0	3
J C C	1 0 0	50	0	9	59
	2 0 0	31	1	5	37
	3 0 0	41	3	4	48
	4 0 0	39	0	2	41
	5 0 0	40	0	5	45
	6 0 0	19	0	1	20
	7 0 0	26	0	4	30
	8 0 0	27	1	1	29
小 計		273	5	31	309
J C G	1 0 0	38	0	5	43
	2 0 0	24	0	0	24
	3 0 0	15	0	1	16
	4 0 0	9	0	0	9
	5 0 0	6	0	0	6
小 計		92	0	6	98
A J A		20	0	0	20
1 0 M H z	1 0 0	9	1	1	11
	2 0 0	7	1	1	9
	3 0 0	4	1	1	6
	4 0 0	3	1	1	5
	5 0 0	4	1	1	6
	6 0 0	2	1	1	4
	7 0 0	4	1	1	6
	8 0 0	2	1	1	4
	9 0 0	2	1	0	3
	1 0 0 0	4	1	0	5
小 計		41	10	8	59
1 8 M H z	1 0 0	12	0	1	13
	2 0 0	5	0	1	6
	3 0 0	6	0	1	7
	4 0 0	4	0	1	5
	5 0 0	3	0	1	4
	6 0 0	4	0	1	5
	7 0 0	2	0	1	3
	8 0 0	2	0	1	3
	9 0 0	3	0	0	3
	1 0 0 0	5	0	0	5
小 計		46	0	8	54
2 4 M H z	1 0 0	5	0	1	6
	2 0 0	4	0	2	6
	3 0 0	6	0	1	7
	4 0 0	1	0	1	2
	5 0 0	2	0	0	2
	6 0 0	1	0	0	1
	7 0 0	2	0	0	2
	8 0 0	1	0	0	1
	9 0 0	1	0	0	1
	1 0 0 0	4	0	0	4
小 計		27	0	5	32
WARC-1000		14	1	1	16
135kHz 10～100		0	0	0	0
475kHz 10～100		0	0	0	0

50MHz	100	13	0	0	13
	200	4	0	0	4
	300	2	0	0	2
	400	1	0	0	1
	500	3	0	0	3
	600	1	0	0	1
	700	2	0	0	2
	800	1	0	0	1
	900	1	0	0	1
	1000	9	0	0	9
小計		37	0	0	37
144MHz	100	12	0	0	12
	200	9	0	0	9
	300	5	0	0	5
	400	3	0	0	3
	500	2	0	0	2
	600	2	0	0	2
	700	1	0	0	1
	800	2	0	0	2
	900	1	0	0	1
	1000	7	0	0	7
小計		44	0	0	44
430MHz	100	15	0	2	17
	200	5	0	0	5
	300	6	0	0	6
	400	5	0	0	5
	500	4	0	0	4
	600	2	0	0	2
	700	0	0	0	0
	800	1	0	0	1
	900	0	0	0	0
	1000	4	0	0	4
小計		42	0	2	44
1200MHz	10	11	0	0	11
	50	2	0	0	2
	100	1	0	0	1
	200	0	0	0	0
	300	1	0	0	1
	400	0	0	0	0
	500	5	0	0	5
小計		20	0	0	20
2400MHz 10~500		0	0	0	0
5600MHz	10	1	0	0	1
	100~500	0	0	0	0
小計		1	0	0	1
10GHz 10~500		0	0	0	0
24GHz 10~500		0	0	0	0
47GHz 10~500		0	0	0	0
75GHz 10~500		0	0	0	0
V・U	1000	6	0	0	6
	2000	2	0	0	2
	3000	3	0	0	3
	4000	0	0	0	0
	5000	2	0	0	2
	6000	0	0	0	0
	7000	1	0	0	1
	8000	1	0	0	1
	9000	2	0	0	2
	10000	2	0	0	2
小計		19	0	0	19

WACA		30		0	30
HACA			0	0	0
WAGA		36		0	36
HAGA			0	0	0
ADXA		50	1	5	56
ADXA-HALF		27	0	6	33
WASA	V・U・SHF	6	0	0	6
	H F	12	1	0	13
HAC			20	1	21
アマチュア衛星「ふじ」		2	0	1	3
JARL-Station	J賞	67	0	0	67
	A賞	26	0	0	26
	R賞	15	0	0	15
	L賞	30	0	0	30
W A K U		24	0	0	24
合 計		1,235 (1,053)	42 (16)	138 (138)	1,415 (1,207)

()内は令和5年度の数字。以下同じ

2. ステッカー発行数

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
J C C	1 5 0	4	0	3	7
	2 5 0	3	0	0	3
	3 5 0	5	0	1	6
	4 5 0	5	0	0	5
	5 5 0	6	0	1	7
	6 5 0	12	0	0	12
	7 5 0	6	0	0	6
小 計		41	0	5	46
J C G	1 5 0	4	0	2	6
	2 5 0	1	0	0	1
	3 5 0	4	0	0	4
	4 5 0	1	0	0	1
	5 5 0	0	0	0	0
小 計		10	0	2	12
A J A	5 0 0	50	0	0	50
	2 5 0	234	6	0	240
W A S A	5 0	39	0	0	39
	1 0 0	591	16	0	607
W A R C	1 0 0 0	45	1	0	46
合 計		1,010 (645)	23 (2)	7 (7)	1,040 (654)

3. D-STARアワード発行数

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
D-STAR	D賞	4	0	0	4
	S賞-100	0	0	0	0
	T賞	2	0	0	2
	A賞-100~800	0	0	0	0
	R賞-50	2	0	0	2
	R賞-100	1	0	0	1
	R賞-150~250	0	0	0	0
合 計		9 (10)	0 (0)	0 (0)	9 (10)

4. JARL全日本10,000局アワード

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
JARL全日本	2500	0	0	0	0
	5000	0	0	0	0
	7500	0	0	0	0
	10000	6	0	0	6
合 計		6 (5)	0 (0)	0 (0)	6 (5)

5. JARL全世界10,000局アワード

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
JARL全世界	2500	0	0	0	0
	5000	0	0	0	0
	7500	1	0	0	1
	10000	7	0	0	7
合 計		8 (7)	0 (0)	0 (0)	8 (7)

6. 代行申請数

	WAC	5 B WAC	6 B WAC	合計
WAC	51 (69)	1 (6)	1 (2)	53 (77)

7. 楯数

WACA・HACA			WAGA・HAGA			合 計		
アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局
3 (7)	0 (0)	0 (0)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	9 (12)	0 (0)	0 (0)

8. QSLカードの所持内容証明発行数

23 件

9. DXCCフィールドチェック件数
(ハムフェア2024受付分 65件含む)

369 件

10. JARLアワードマスター

12 件

レピータ局及びビーコン局の運用

(1)レピータ局

区 分	28[MHz]	430[MHz]	1200[MHz]	2400[MHz]	5600[MHz]	10.1[GHz]	合 計
前年度までの数	1	674	319	41	4	3	1042
令和6年度の開設数	-	13	-	-	-	2	15
令和6年度の廃止数	-	15	10	3	-	-	28
合 計	1	672	309	38	4	5	1029

(2) ビーコン局

国際ビーコン計画に基づき、HF帯（14.1MHz、18.11MHz、21.15MHz、24.93MHz、28.2MHzの5バンド）でのビーコンは、平成9年5月18日から運用を開始したものを
含め、50MHz、1200MHz並びに2400MHz及び5600MHz帯のビーコン電波を発射
（一部、停波中。）しています。

令和6年度特別記念局等の開設・運用状況

<特別局>

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関 東	千葉県誕生150周年記念事業	05.08.01～06.06.30	8J150CB	千葉県四街道市
	長生村70周年記念協賛事業	06.01.14～06.06.30	8N1CS70Y	千葉県長生郡
	第48回古河桃まつり	06.03.01～06.04.07	8N1MOMO	茨城県古河市
	第73回水郷潮来あやめまつり	06.04.01～06.06.30	8J1SUIGO	茨城県潮来市
	東松山市市制施行70周年記念	06.06.01～06.12.31	8N170HM	埼玉県東松山市
	犬吠埼灯台点灯150周年記念事業	06.07.15～06.11.30	8J1INUBO	千葉県銚子市
	第49回古河桃まつり	07.03.01～07.03.30	8N1MOMO	茨城県古河市
東 海	下呂市制20周年記念	06.01.01～06.12.30	8J2GERO	岐阜県下呂市
	浜名湖花博20周年記念／浜名湖花博2024	06.03.01～06.06.16	8J2HHH	静岡県浜松市
	岐阜まつり協賛 第52回道三まつり	06.04.04～06.04.07	8J24G	岐阜県岐阜市
	江南市制70周年記念事業	06.05.01～06.10.31	8J2KONAN	愛知県江南市
	「清流の国ぎふ」文化祭2024	06.10.01～06.11.24	8J24FES	岐阜県岐阜市
	愛知万博20周年記念事業	07.03.25～07.09.25	8J20AI	愛知県名古屋市中区
関 西	高島市制20周年記念連携事業	06.07.25～06.08.25	8J3TC	滋賀県高島市
中 国	瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業	06.03.15～06.06.30	8J4SNP	岡山県倉敷市
	矢掛町合併70周年記念事業	06.04.01～07.03.31	8J4Y70A	岡山県小田郡
四 国	第39回砥部焼まつり	06.03.01～06.04.30	8J5TOBE	愛媛県伊予郡
	南極と交信チャレンジ及び国内のアマチュア無線局と交信体験	05.06.25～06.04.30	8J5TOSA	高知県高知市
	南極と交信チャレンジ及び国内のアマチュア無線局と交信体験	06.06.01～07.05.31	8J5TOSA	高知県高知市
	受信環境クリーン月間	06.07.01～06.10.31	8N5CLEAN	愛媛県松山市
	サイクリングしまなみ2024	06.10.01～06.10.31	8J5CS	愛媛県今治市
	第40回砥部焼まつり	07.03.01～07.04.30	8J5TOBE	愛媛県伊予郡

九州	無形民俗文化財等覚寺の松会	06.04.14～06.04.21	8J6MATUE	福岡県京都郡
	博多どんたく港祭り	06.04.29～06.05.05	8J6DON	福岡県福岡市
	2024佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	06.10.05～06.11.06	8J6BAL	佐賀県三養基郡
	航空自衛隊築城基地開設70周年記念	06.11.01～06.11.24	8J670FZ	福岡県築上郡
東北	郡山市制100周年を盛り立てる事業	06.01.09～06.12.31	8J7KFC	福島県郡山市
	多賀城創建1300年記念事業	06.09.20～06.11.30	8J7T1300	宮城県仙台市
北海道	2024FIAインターナショナルラリー2024JAF 全日本ラリー選手権第7戦第23回ラリー北海道	06.09.01～06.09.08	8J8RLY	北海道帯広市
	第75回さっぽろ雪まつり	07.01.04～07.02.11	8N8SSF	北海道札幌市
北陸	令和6年度受信環境クリーン月間	06.10.01～06.10.31	8N9C	福井県大野市

＜特別記念局＞

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関東	2024アマチュア無線フェスティバル	06.07.01～06.08.25	8J1HAM	東京都江東区
	2024アマチュア無線フェスティバル	06.08.10～06.08.25	8J1HAM	東京都武蔵野市
	2024アマチュア無線フェスティバル	06.08.02～06.08.25	8J1HAM	東京都三鷹市
	2024アマチュア無線フェスティバル	06.08.03～06.08.25	8J1HAM	東京都青梅市
	2024 IARU HF World Championship	06.07.06～06.07.14	8N1HQ	東京都八王子市
	2024全日本ARDF競技大会	06.08.01～06.10.31	8J1ARDF	東京都豊島区
東海	第56回東海ハムの祭典	06.04.01～06.09.29	8J2TKI	愛知県名古屋市
関西	第28回関西アマチュア無線フェスティバル	06.03.30～06.07.14	8J328A 8N3XXV3I	大阪府池田市
中国	QRPデー	06.04.20～06.06.30	8J4VLP	岡山県岡山市
	第20回世界バラ会議福山大会2025	06.05.17～06.05.19	8J4WRC	広島県福山市
	第20回世界バラ会議福山大会2025	06.09.09～06.12.31	8J4WRC	広島県福山市
	第20回世界バラ会議福山大会2025	07.01.01～07.05.23	8J4WRC	広島県福山市
九州	QRPデー	06.04.26～06.07.31	8J6VLP	福岡県久留米市
	2024 IARU HF World Championship	06.07.06～06.07.14	8N6HQ	熊本県阿蘇郡
	第22回西日本ハムフェア	07.01.01～07.03.10	8J6HAM	福岡県京都郡
北陸	QRPデー	06.04.20～06.06.30	8J9VLP	石川県河北郡

2024地方ARDF競技大会実施状況

エリア	開催日 (部 門)	クラス別参加選手数																				合計
		オープン	N00	W12	W15	W19	W21	W35	W45	W55	W65	W70	M12	M15	M19	M21	M40	M50	M60	M70	M75	
関 東	5月12日 144MHz帯部門	-	-	0	0	1	1	1	3	0	1	1	0	1	33	7	1	1	8	4	3	66
東 海	11月17日 144MHz帯部門	-	-	0	0	3	0	1	2	0	0	1	0	4	10	4	2	1	4	5	2	39
関 西	11月2日 144MHz帯部門	-	-	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	6	9	4	1	1	2	6	3	37
中 国																						
四 国	5月12日 144MHz帯部門	-	-	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	1	9	2	1	0	3	5	4	30
九 州																						
東 北																						
北海道																						
北 陸	10月6日 144MHz帯部門	-	-	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	1	8	9	1	6	6	1	2	40
信 越	5月26日 144MHz帯部門	-	-	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	9	1	2	8	6	4	32
合 計		0 (1)	0 (2)	0 (0)	3 (7)	9 (4)	4 (7)	4 (1)	8 (2)	0 (1)	1 (0)	3 (3)	0 (0)	14 (11)	69 (21)	35 (27)	7 (11)	11 (12)	31 (25)	27 (17)	18 (11)	244 (163)

(注1) ()内は、令和5年度の数字を表します。

(注2) オープンは北陸地方、N00クラスは関東地方で開催した独自のクラスです。

2011地方競技大会の参加者数は243人
 2012地方競技大会の参加者数は228人
 2013地方競技大会の参加者数は290人
 2014地方競技大会の参加者数は253人
 2015地方競技大会の参加者数は660人
 (関西は、2015全日本ARDF競技大会に兼ねて実施)
 2016地方競技大会の参加者数は283人
 2017地方競技大会の参加者数は229人
 2018地方競技大会の参加者数は200人
 2019地方競技大会の参加者数は187人
 2020地方競技大会の参加者数は24人
 2021地方競技大会の参加者数は29人
 2022地方競技大会の参加者数は395人
 2023地方競技大会の参加者数は163人

QSL・SWLカード転送状況

(令和6年4月～令和7年3月)

項 目 月 別	国内転送枚数	外国転送枚数	非会員枚数	取扱処理枚数
令和6年4月	706,898	0	66,812	773,710
5月	652,686	0	45,201	697,887
6月	718,703	0	55,998	774,701
7月	613,455	0	62,872	676,327
8月	626,355	0	64,782	691,137
9月	517,591	0	59,718	577,309
10月	570,974	0	65,354	636,328
11月	552,225	0	58,647	610,872
12月	563,934	0	48,954	612,888
令和7年1月	456,081	102,113	46,952	605,146
2月	504,163	0	53,012	557,175
3月	425,082	254,983	54,059	734,124
合 計	6,908,147	357,096	682,361	7,947,604
月平均	575,679	29,758	56,863	662,300

令和5年度合計	8,382,228	689,868	687,291	9,759,387
増 減	-1,474,081	-332,772	-4,930	-1,811,783
増 減 率 (%)	-17.6%	-48.2%	-0.7%	-18.6%

令和6年度行事一覧

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
4	1		山形県支部 山形県全市町村賞発行開始
	1~21		岡山県支部 公開・体験運用(瀬戸内海国立公園指定90周年特別局)
	1~29		広島県支部 公開運用(呉みなと祭)
	1~5/25		空知留萌支部 ガイダンス局運用
	1~6/30		東海地方本部 ガイダンス局運用(岐阜県)
			中国地方本部 公開・体験運用(瀬戸内海国立公園指定90周年特別局)
	6		神奈川県支部 神奈川非常通信コンテスト
	6~7		岐阜県支部 道三まつり特別記念局
			長崎県支部 2024長崎県コンテスト
	7		東海地方本部会議/東海ハムの祭典実行委員会
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			和歌山県支部 和歌山コンテスト
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	10~28		京都府支部 KANHAM記念局運用
	11		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	13		中国地方本部会議(Web会議併催)
			長野県支部 ARDF競技大会(ARDF長野)
	13~14		信越地方本部 信越非常通信訓練コンテスト
	14		和歌山県支部 コンテストLOGの作成講習会(Web併催)
			福岡県支部 等覚寺松会祭特別局運用
			宮城県支部 八木・宇田アンテナ発明100周年記念フォーラム
			長野県支部 支部大会実行委員会(Web会議)
	20	選挙管理会 選挙結果告示 社員・理事の候補者の選挙	
	20~21		東北地方本部 オール東北コンテスト
	20~6/30		北陸地方本部 QRPデー特別記念局運用
	21		東京都支部 支部大会+ハムらde無線フェア 上川宗谷支部 公開運用(美深白樺樹液春まつり)
	22	監事の監査	
	22~5/12		広島県支部 公開・体験運用(瀬戸内海国立公園指定90周年特別局)
	25		大分県支部 大分県総合防災訓練説明会
	26~7/31		九州地方本部 IARU QRPデー特別記念局運用
	27~28	ALL JA コンテスト	茨城県支部 オール茨城コンテストI部
	29~5/5		福岡県支部 博多どんたく港まつり特別局運用
	30		愛媛県支部 愛媛県総合防災訓練第1回現地打合せ

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
5	1~11/30		山口県支部 公開・体験運用(光市新市誕生20周年記念運用)
	2~5/4		山口県支部 公開・体験運用(下関海峡まつり)
	3		東京都支部 東京コンテスト
	3~5		広島県支部 公開運用(ひろしまフラワーフェスティバル)
	4		静岡県支部 静岡コンテスト
			石川県支部 ARDF練習会
	4~5		滋賀県支部 体験運用
	5		三重県支部 オール三重33コンテスト
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			上川宗谷支部 青少年とアマチュア無線の活性化事業
	6		東京都支部 「福生deはむハムフェア・フリマと音楽」出展
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	9		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	11		東海地方本部 東海ハムの祭典実務委員会
			群馬県支部 ARDF競技大会
			奈良県支部 ARDF練習会
			秋田県支部 高校ARDF春季大会
	11~12		関西地方本部 関西VHFコンテスト
			信越地方本部 JA0-VHFコンテスト
			山口県支部 おいでませオール山口コンテストHF
			青森県支部・渡島檜山支部 津軽海峡コンテスト
	12	関東地方ARDF競技大会	
	13~19		長野県支部 前期QSOパーティー
	13~6/16		山口県支部 公開・体験運用(瀬戸内海国立公園指定90周年特別局)
	15~6/15		富山県支部 情報通信月間PR特別局運用
	18~19		栃木県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
			群馬県支部 オール群馬コンテスト
			山口県支部 おいでませオール山口コンテストV/U/SHF
	19		広島県支部 公開運用(福山ばら祭)
			東京都支部 神奈川県支部主催フィールドミーティングへ出展
			神奈川県支部 かながわアマチュア無線フィールドミーティング
			山梨県支部 かながわアマチュア無線フィールドミーティング出展
			三重県支部 フィールドミーティング2024
			和歌山県支部 和歌山ハム・ベンション(春季)

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
5	19	第72回理事会(Web会議併催) 信越地方ARDF競技大会	大分県支部 はむ寺子屋
			宮崎県支部 アイボールミーティング
			新潟県支部 新潟コンテスト(7MHz/ハイバンド)
			長野県支部 支部大会実行委員会
			香川県支部 CW講習会
			新潟県支部 ARDF競技大会
	25		埼玉県支部 さいたまフィールドミーティング
	26		茨城県支部 いばらきハムの集い実行委員会
			静岡県支部 西部ハムの祭典
	31		大分県支部 大分県総合防災訓練第1回実行委員会
6	1		関西地方本部会議
			四国地方本部会議
			神奈川県支部 オール神奈川コンテスト (フォトコンテスト同時開催)
			沖縄県支部 「電波の日」アマチュア無線体験会
			青森県支部 電波の日記念運用
			岩手県支部 電波の日記念運用
			山形県支部 電波の日記念運用
			福島県支部 電波の日記念移動運用(前後1週間)
	1~2		宮崎県支部 宮崎コンテスト
			石狩後志支部 支部コンテスト
	1~10		十勝支部 マラソンQSO
	2		山梨県支部 山梨ハムの集い・アイボール会・抽選会
			愛知県支部 ちびっ子電波教室(情報通信月間協賛)
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			徳島県支部 HQSL勉強会
			愛媛県支部 ARDF B級審判員講習会
			岩手県支部 支部大会・ハムの集い
			釧路根室支部 オール釧根コンテスト
	8		富山県支部 支部の集い
			北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
			秋田県支部 高校ARDF大会
	8~9		岐阜県支部 オール岐阜コンテスト
			大分県支部 大分コンテスト
	9		信越地方本部 コンテスト委員会
			山梨県支部 山梨コンテスト
			和歌山県支部 アンテナ製作講習会
			山口県支部 マイクロ山口研修会
			高知県支部 ハムの集い(支部大会)
			秋田県支部 電波の日記念運用

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
6	9		宮城県支部 宮城通信訓練コンテスト 新潟県支部 新潟コンテスト(ローバンド)
	12~28		和歌山県支部 KANHAM記念局運用
	13		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	14		北陸地方本部・富山県支部 総合通信局規正局とガイダンス局の合同運用
	15		福井県支部 ARDF練習会
	15~16		兵庫県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	15~17	ALL ASIAN DX コンテスト(電信部門)	
	16		茨城県支部 いばらきハムの集い 和歌山県支部 モービルFOXハンティング 高知県支部 子供科学工作教室の打合せ 岩手県支部 通信訓練コンテスト
	17		東海地方本部・岐阜県支部 総務省規正局・ガイダンス局連携運用 福岡県支部 電波教室
	17~6/30		岡山県支部 公開・体験運用(瀬戸内海国立公園指定90周年特別局) 福岡県支部 電波教室
	18		北海道地方本部・石狩後志支部 北海道総合通信局規正局・ガイダンス局連携運用
	21		北海道地方本部 ALL JA8コンテスト
	22~23		高知県支部 南極昭和基地、その他国内局との交信体験
	23	第13回定時社員総会 第73回理事会	関西地方本部会議(Web会議併催)
	29		広島県支部 1アマ2アマ国家試験対策勉強会
	29~30		鹿児島県支部 ARDF競技大会
	30		奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 徳島県支部 FT8初心者講座 福島県支部 CW交流会
7	1~9/30		東海地方本部 ガイダンス局運用(静岡県) 中国地方本部会議(Web会議併催) 北海道地方本部会議(Web会議併催)/北海道地方選出社員との懇談会(Web会議併催) 北陸地方本部会議
	6		栃木県支部 栃木コンテスト オホーツク支部 野外ミーティング
	6~7	6m AND DOWN コンテスト	茨城県支部 オール茨城コンテストⅡ部 東海地方本部会議/東海ハムの祭典実行委員会
	7		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 熊本県支部 ハムの集い 福井県支部 ハムセミナー
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
7	11 13		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 関東地方本部 監査指導委員長会議/地方本部会議 中国地方本部 関西アマチュア無線フェスティバル出展 九州地方本部会議 上川宗谷支部 支部大会前夜祭 渡島檜山支部 定期ロールコール 長野県支部 支部大会前夜祭 関西地方本部 関西アマチュア無線フェスティバル
	13~14		オホーツク支部 オホーツクコンテスト 東京都支部 コンテスト委員会 茨城県支部 CW講習会 上川宗谷支部 支部大会 長野県支部 支部大会 宮城県支部 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2024
	14		山口県支部 馬関まつりコンテスト 東海地方本部 東海ハムの祭典実務委員会 神奈川県支部 技術講習会(ダミーロードの製作と、VNAでの測定)
	17		四国地方本部 オールJA5コンテスト 和歌山県支部 支部移動デイ 群馬県支部 支部大会 山梨県支部 フィールドミーティング 岐阜県支部 支部大会実行委員会 奈良県支部 アンテナ製作講習会 岡山県支部 ハムの集い岡山2024 長崎県支部 長崎県非常通信訓練コンテスト 熊本県支部 電波教室(ラジオ工作) 大分県支部 はむ寺子屋 沖縄県支部 ローカルミーティング 空知留萌支部 支部大会 新潟県支部 潟ハムフェア
	19~21 20		渡島檜山支部 ガイダンス局運用 鹿児島県支部 電波教室(ラジオ工作) 大分県支部 大分県総合防災訓練第2回実行委員会 福島県支部 全福島マラソンQSO 広島県支部 公開運用(三次きんさい祭) 高知県支部 子供科学工作教室(小学生親子で参加)
	20~21		茨城県支部・栃木県支部 栃木・茨城合同ミーティング 鹿児島県支部 青少年のための科学の祭典/鹿児島コンテスト 青森県支部 オール青森コンテスト
	21~9/13 23 24		
	25~31 27		
	27~28	第74回理事会(Web会議併催)	

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
7	27~29 28		新潟県支部 全国高校ARDF大会
			香川県支部 ARDF審判員講習会
	徳島県支部 アマチュア無線通信講座 (HF/V・UHF移動運用)		
	福岡県支部 電波教室		
	富山県支部 ハムセミナー「ラジオ工作教室」		
	奈良県支部 ARISSスクールコンタクト		
	福岡県支部 電波教室		
29 30 31	福岡県支部 電波教室		
8	1~10/21 3	フィールドデー コンテスト	岐阜県支部 「清流の国ぎふ」特別局運用
	関西地方本部会議 (Web会議)		
	四国地方本部会議		
	沖縄県支部 ミニ電波教室&アマチュア無線体験会		
	渡島檜山支部 定期ロールコール		
	3~4 4		滋賀県支部 高島市政20周年記念局運用・体験運用
			愛媛県支部 愛媛ハムの集い
	5 8		秋田県支部 高校ARDF夏季大会 (こまち杯)
			富山県支部 ハムセミナー「みんなでラジオを作ろう」
	5 8		鹿児島県支部 電波教室 (ラジオ工作)
			北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	10		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
			福岡県支部 電波教室
	10		鹿児島県支部 電波教室 (ラジオ工作)
			栃木県支部 8J1HAM体験運用
	10~11		福岡県支部 電波教室
			北陸地方本部 JA9コンテストVU2024
	11		奈良県支部 奈良V・UHFコンテスト
			岐阜県支部 親子電子工作教室
	11		徳島県支部 製作講座
			長崎県支部 子どもラジオ教室
	12~14		上川宗谷支部 支部コンテスト
			石狩後志支部 青少年向けラジオ工作会・体験運用会
	14~9/19		胆振日高支部 JA8RL運用 (日高山脈襟裳十勝国立公園化記念)
	17~18		栃木県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
			山梨県支部 電波教室 (ラジオの製作)
	18		徳島県支部 製作講座
			福岡県支部 電波教室
	22 23~25		東海地方本部 電波いろいろ公開 Day2024
			胆振日高支部 支部コンテスト

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
8	24	2024アマチュア無線フェスティバル	中国地方本部 アマチュア無線フェスティバル出展
	24～25		東京都支部 2024アマチュア無線フェスティバル出展
	25		山口県支部 アマチュア無線で交信体験
			佐賀県支部 オール佐賀コンテスト
			和歌山県支部 CW&DXミーティング
31	第75回理事会(Web会議併催)	山口県支部 馬関まつりコンテスト表彰式	
		高知県支部 アマチュア無線特別局体験(小中高生対象)	
		渡島檜山支部 青少年のための科学の祭典	
		東海地方本部 東海ハムの祭典実務委員会	
		福岡県支部 電波教室	
31～9/1		新潟県支部 ギガヘルツコンテスト	
9	1	ALL ASIAN DX コンテスト(電話部門)	滋賀県支部 コンテスト委員会
	1～10		秋田県支部 災害ロールコール
			新潟県支部 受信環境クリーン月間PR局運用
			徳島県支部 AWA9コンテスト(徳島マラソンコンテスト)
	1～10/31		信越地方本部 全国受信環境クリーン月間PR活動
	6～8		渡島檜山支部 48時間コンテスト
	7		渡島檜山支部 定期ロールコール
	7～8		長野県支部 後期QSOパーティー
	7～9		
	8		東海地方本部 東海ハムの祭典実行委員会
	12		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
			静岡県支部 支部大会
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
			岡山県支部 オール岡山コンテスト
			香川県支部 製作技術講習会
	14		宮城県支部 ハムの集い
			十勝支部 公開運用(ラリー北海道)
			釧路根室支部 支部大会
			東海地方本部・静岡県支部 総務省規正局・ガイダンス局連携運用
			大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	14～15		十勝支部 支部大会前夜祭
			渡島檜山支部 支部大会前夜祭
			山梨県支部 電波教室(ラジオの製作)
			福岡県支部 福岡コンテスト
			オホーツク支部 ガイダンス局運用
	14～10/25		岐阜県支部 支部大会実行委員会
			奈良県支部 フィールドミーティング大会
			山口県支部 D-STAR実践研修会

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
9	15		高知県支部 アマチュア無線特別局体験(小中高生対象) 青森県支部 渡島檜山支部大会参加(青函交流事業) 石狩後志支部 支部大会 十勝支部 支部大会 渡島檜山支部 支部大会・ハムの集い 関西地方本部 XPO記念コンテスト 長崎県支部 子どもラジオ教室
	16		大分県支部 竹田市防災危機管理室と打ち合わせ
	17		大分県支部 大分県総合防災会議第2回全体会議
	18		東海地方本部 愛・地球博コンテスト
	21		北海道地方本部 北海道アマチュア無線セミナー
	22		東京都支部 青少年のための科学の祭典東京大会出展 栃木県支部 とちぎビギナーセミナー&8J1ARDF体験運用 大分県支部 はむ寺子屋 石狩後志支部 支部コンテストのログ提出手法の講演
	29		東海地方本部 東海ハムの祭典 神奈川県支部 ニューオペレータハム講座(初心者向け・ハムの楽しみ方) 愛知県支部 支部大会 鳥取県支部 支部大会 徳島県支部 普通救命講習会 熊本県支部 電波教室(ラジオ工作) 青森県支部 支部大会&ハムの集い 渡島檜山支部 青森県支部大会参加(青函交流)
			富山県支部 受信環境クリーン月間特別局運用
	1~10		東海地方本部 受信環境クリーン月間協賛事業
	1~31		東京都支部 東京都支部登録クラブオンエア一月間 青森県支部 電波を正しく使おうキャンペーン 北陸地方本部 受信環境クリーン月間特別局運用
	1~11/6		佐賀県支部 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ記念局運用
	1~12/31		東海地方本部 ガイダンス局運用(愛知県)
	4		福岡県支部 電波教室
	5		中国地方本部会議(Web会議併催)

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
10	5	北陸地方ARDF競技大会	愛知県支部 中川運河モールス信号ワークショップ
	6		渡島檜山支部 定期ロールコール 東海地方本部 地方本部会議、東海ハム準備会
	8		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 福岡県支部 電波教室 山形県支部 ハムミーティング オホーツク支部 支部大会 渡島檜山支部 非常通信ボランティア研修会(函館市防災フェスタ見学)
	8~9		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	8~13		山形県支部 山形さくらんぼQSOコンテスト
	9~10		広島県支部 公開運用(酒まつり)
	10		山梨県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	12		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 栃木県支部 第三級アマチュア無線技士養成課程講習会
	12~13		宮崎県支部 電波教室(ラジオ工作教室)
	13	2024全日本ARDF競技大会 全市全郡コンテスト	山梨県支部 電波教室(ラジオの製作)/電波教室(アマチュア無線体験運用) 愛媛県支部 ARDF B級審判員講習会 鹿児島県支部 ハムのつどい 宮城県支部 アマチュア無線何でも相談室 関西地方本部 フィールドミーティング舞洲 東京都支部・神奈川県支部 合同野外ミーティング2024
	14		鳥取県支部 2024オール鳥取コンテスト 福島県支部 ハムの集い 山口県支部 公開運用(2024ハムの集いin山口事前PR)
	18~11/2		熊本県支部 電波教室(ラジオ工作) 大分県支部 おおいたはむの集い前夜祭 東京都支部 アマチュア無線体験運用JOTA支援
	19		群馬県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	19~20		長崎県支部 青少年科学の祭典2024 千葉県支部 オール千葉コンテスト 栃木県支部 製作技術講習会 岐阜県支部 支部大会・ハムの集い 三重県支部 モービルFOX2024
	20		徳島県支部 防災フェスタ/CW講座 愛媛県支部 青少年対象ラジオ製作講習会

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
10	20	監事の中間監査	高知県支部 アマチュア無線特別局体験(小中高生対象)
			大分県支部 支部大会・おおいたはむの集い
			宮崎県支部 ハムの集い/支部総会/体験運用、電波教室、ラジオ工作教室
			胆振日高支部 支部大会
	25		富山県支部 ハムセミナー「講演会」
			静岡県支部 JARL事務局見学ツアー
			福岡県支部 電波教室
			宮崎県支部 災害時応援協定書締結式
	26		東海地方本部 東海ハムの祭典実務委員会
	27		東京都支部 東京CWコンテスト
			埼玉県支部 感度交換訓練
			和歌山県支部 和歌山ハム・ベンション(秋季)
			高知県支部 技術講習会(コンテスト電子ログ申請講習会)
11	1~7	関西地方ARDF競技大会	東海地方本部 東海マラソンコンテスト
	1~10		高知県支部 高知マラソンコンテスト
	2		宮城県支部 電波教室
			渡島檜山支部 定期ロールコール
	2~3		北陸地方本部 JA9コンテストHF2024電話部門
			岐阜県支部 ぎふ信長まつり特別局運用
	3		滋賀県支部 体験運用
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
			大阪府支部 オール大阪コンテスト
			岡山県支部 里庄町産業文化祭
			山口県支部 2024ハムの集いin山口(公開・体験運用)
	4		宮崎県支部 FOXハンティング
	7		愛媛県支部 出前授業(アマチュア無線体験)
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	9		福岡県支部 電波教室
			渡島檜山支部 支部結成50周年記念式典・祝賀会
	9~10		京都府支部 青少年のための科学の祭典京都大会
	10		北陸地方本部・福井県支部 北陸ハムフェスティバル(シンポジウム)2024・福井県ハムの集い
			山梨県支部 第三級アマチュア無線技士養成課程講習会
			愛知県支部 愛知防災フェスタ
			三重県支部 支部大会・三重県ハムフェスティバル2024
			香川県支部 2024香川ARDF競技大会

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
11	10	東海地方ARDF競技大会	徳島県支部 ハムの集い in 2024
	12		奈良県支部 非常通信ルート設定の通信訓練
	14		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	16		奈良県支部 青少年のための科学の祭典
			福岡県支部 飯塚科学広場
			熊本県支部 電波教室(ラジオ工作)
	16~17		北陸地方本部 JA9コンテストHF2024電信部門
	17		山梨県支部 公開運用(県民の日記念行事)
			滋賀県支部 ハムのつどい
			和歌山県支部 テクニカル講座
			長崎県支部 アマチュア無線の祭典(ハムの集い)
	21		東海地方本部・愛知県支部 総務省規正局・ガイダンス局連携運用
	22~23		九州地方本部 オール九州コンテスト
	23		東京都支部 東京UHFコンテスト
			山梨県支部 山梨地区非常無線通信訓練コンテスト
		第76回理事会(Web会議併催)	京都府支部 支部大会
			沖縄県支部 アマチュア無線の体験運用 in NICT
	23~24		茨城県支部 ARDF競技大会
	24		山梨県支部 公開運用(山梨県地震防災訓練出展)
			岐阜県支部 けやき祭り
			京都府支部 初級CW教室
			広島県支部 ハムの集い
			福岡県支部 航空自衛隊築城基地航空祭特別局運用
	27		北海道地方本部 北海道総合通信局規正局・ガイダンス局連携運用
	29		福岡県支部 電波教室
	30		四国地方本部会議
			北海道地方本部会議(Web会議)/北海道選出社員との懇談会(Web会議)
			神奈川県支部 かながわハムの集い2024
			福井県支部 交信体験支援
	30~12/1		栃木県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
12	1		関西地方本部会議(Web会議併催)/年末ハムの集い
			信越地方本部会議
			東京都支部 はむハムフェア番外編アンテナミーティング
			神奈川県支部 かながわアマチュア無線非常通信ネットワークロールコール
			埼玉県支部 さいたまハムの集い・支部大会

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
12	1 1~15 7	第77回理事会(文書による)	京都府支部 KCWA CWコンテスト 香川県支部 香川マラソンコンテスト 関東地方本部会議 中国地方本部会議(Web会議併催) 高知県支部 忘年会 渡島檜山支部 定期ロールコール 東北地方本部会議 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練 千葉県支部 ハムの集い準備会 岐阜県支部 支部大会実行委員会 福岡県支部 電波教室 佐賀県支部 ハムの集い・チャリティオーク ション
	8		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 北陸地方本部会議 静岡県支部 技術講習会 兵庫県支部 電子工作イベント(ラジオキッ ト製作)後援 熊本県支部 電波教室(X'masイルミネー ション作成)
	12 14		石狩後志支部 「サイエンスフェスタ2024」 青少年向け電子工作会・体験運用会 長崎県支部 子どもラジオ教室 渡島檜山支部 コミュニティーFM放送FMイル カ出演(50周年事業他)
	15 16		長野県支部 ALL JA0コンテスト(1.8MHz) 三重県支部 三重県総合防災訓練啓発活動 (体験運用)
	21 21~22		釧路根室支部 ガイダンス局運用 東京都支部 支部大会+おうめdeはむハム フェア準備会議(Web会議)
	21~2/14 27		渡島檜山支部 年越ロールコール
	31		
令和7年		QSOパーティー	東海地方本部 ガイダンス局運用(三重県) 渡島檜山支部 ZOOMを使ったモールス講習会 胆振日高支部 ニューイヤー2mコンテスト 十勝支部 QSOパーティー 兵庫県支部 オール兵庫コンテスト 渡島檜山支部 定期ロールコール 石狩後志支部 さっぽろ雪まつり記念局運用 鳥取県支部 新春WEBミーティング 熊本県支部 オール熊本コンテスト
1	1~3/31		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 東海地方本部会議/東海ハムの祭典実行委員 会 中国地方本部会議(Web会議併催)
	2~3 2~7 4		
	4~2/11 5		
	8		第78回理事会(Web会議併催)
	9 11		

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
1	11		信越地方本部会議(長野) 和歌山県支部 支部大会打合せ 宮崎県支部 新春アイボールミーティング 渡島檜山支部 新年会 富山県支部 富山県非常無線通信訓練コンテスト
	12		長野県支部 新年会 千葉県支部 ハムの集い準備会 奈良県支部 D-STAR研修会 香川県支部 コンテスト委員会 愛媛県支部 新春グランドミーティング 福岡県支部 新年賀詞交歓会
	13		東海地方本部 おもしろ科学教室(各種学会・組織連携) 埼玉県支部 オール埼玉コンテスト
	14		高知県支部 コンテスト委員会
	18		大分県支部 はむ寺子屋/新春アイボールパーティー 鹿児島県支部 日置市「青少年科学の祭典」
	18~19		茨城県支部 賀詞交歓会 宮城県支部 オール宮城コンテスト
	19		神奈川県支部 2025新年アイボールパーティー 栃木県支部 賀詞交歓会 奈良県支部 CW実技講習会 岡山県支部 電子工作教室 渡島檜山支部 非常通信ボランティア研修会(函館消防見学)
	22		福島県支部 総合通信局規正局・ガイダンス局合同運用
	25		信越地方本部会議(新潟) 新潟県支部 新年会
	26		東京都支部 支部大会+おうめdeはむハムフェア準備会議(Web会議) 神奈川県支部 神奈川ニューイヤーQRVデー 鳥取県支部 2024年度OSO訓練コンテスト
	28		十勝支部 新年アイボール会 石狩後志支部 電気と電波の出前授業・体験運用会
2	1		鹿児島県支部 新年会 渡島檜山支部 定期ロールコール
	1~2		群馬県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	1~10		京都府支部 京都コンテスト
	1~11		愛媛県支部 愛媛マラソンコンテスト 富山県支部 富山マラソンコンテスト&パーティー
	1~16		東京都支部 千代田区文化芸術フェスティバル2025出展

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
2	2		三重県支部 技術講習会(ハムログ初心者入門講座)
			和歌山県支部 支部大会・ハムの集い
			兵庫県支部 コンテスト審査会(Web会議)
			徳島県支部 衛星通信勉強会
			佐賀県支部 支部大会
	2~11		山形県支部 QSOパーティ
	4		中国地方本部会議(Web会議)
			石狩後志支部 さっぽろ雪まつり体験局運用・アイボール会
	5		東海地方本部・三重県支部 総務省規正局・ガイダンス局連携運用
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
			東京都支部 コンテスト委員会
	9		埼玉県支部 蓮田市防災フェア
			栃木県支部 ハムの集い事前準備会議
			静岡県支部 東静アマチュア無線フェアー
			岐阜県支部 技術講習会(CW講習会)
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
			大阪府支部・兵庫県支部 関西ハムシンポジウム
			高知県支部 救急救命講習会
	11		関東地方本部 関東UHFコンテスト
			愛知県支部 アマチュア無線何でも相談会
			岩手県支部 いわてWINTERコンテスト
	13		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	15		神奈川県支部 CW QSO実践講座
	16		渡島檜山支部 ビギナーズセミナー
			東海地方本部 東海ハムの祭典実務委員会
			千葉県支部 ちばハムの集い2025支部大会
			群馬県支部 技術講習会
			奈良県支部 支部大会準備会議(Web会議)
			大阪府支部 技術講習会(衛星受信講習)
			岡山県支部 技術講習会
			愛媛県支部 まなぼうさい参加(アマチュア無線体験)
			長崎県支部 ハムのセミナー
			山形県支部 技術講習会(コンテストログの電子化)
			長野県支部 地区研修会「電信講習会」
	22~23	第79回理事会(Web会議併催)	広島県支部 広島WASコンテスト
	23		東京都支部 支部大会+おうめdeはむハムフェア準備会議(Web会議)
			沖縄県支部 支部大会(ハムの集い)
3	1		関東地方本部 監査指導委員長会議
			四国地方本部会議
			渡島檜山支部 定期ロールコール

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
3	1～10		徳島県支部 AWA3コンテスト(徳島マラソンコンテスト)
	2		関西地方本部会議(Web会議併催)
			栃木県支部 ハムの集い
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			宮城県支部 アマチュア無線何でも相談室
	8		九州地方本部 西日本ハムフェア前夜祭
			北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
			長野県支部 ALL JA0コンテスト(3.5MHz)
	9		九州地方本部 西日本ハムフェア・特別記念局運用
			北陸地方本部 監査指導委員長会議
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
			高知県支部 支部報発行委員会
			長野県支部 ALL JA0コンテスト(7MHz)
	12		東京都支部 支部大会+おうめdeはむハムフェア準備会議
	16		茨城県支部 D-STAR講習会
			栃木県支部 とちぎビギナーセミナー
			奈良県支部 支部大会
			徳島県支部 研修会(AWAログの使い方)
			石狩後志支部 監査指導委員増員による機器レクチャー会
	20		東海地方本部 東海QSOコンテスト
			高知県支部 アマチュア無線特別局体験(小中高生対象)
	22		福井県支部 ARDF審判員講習会
	23		北陸地方本部会議
			香川県支部 ハムフェスティバル in 香川
	29		東京都支部 支部大会+おうめdeはむハムフェア準備会議
	29～30		栃木県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	30		中国地方本部会議(Web会議)
	31		関東地方本部会議

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
◎非常無線通信訓練・防災訓練			
	5/5	岐阜県	10/19 福島県
	5/25	長崎県	10/20 埼玉県, 長野県
	5/26	山口県, 高知県, 鹿児島県	10/30 青森県
	6/2	福岡県	11/4 宮崎県
	6/10	宮崎県	11/16 岡山県, 高知県
	8/2	長崎県	11/17 愛知県
	8/25	沖縄県	11/22 佐賀県
	9/1	茨城県, 静岡県, 岐阜県	12/1 静岡県
	9/8	千葉県, 和歌山県	12/8 三重県, 山形県
	9/8	宮崎県	12/22 岐阜県
	9/29	大分県, 富山県	1/11 鹿児島県
◎ 各支部ごとにそれぞれ支部役員会議、クラブ代表者会議などを開催するほか、支部報発行、R L局などの移動運用をおこなった。			

令和6年度理事会報告

(1) 第72回理事会

開催日 令和6年5月25日

場 所 当連盟 本部会議室およびWeb会議

出席理事 森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第1号議題 令和5年度事業報告について

原案を一部修正して承認

賛成14名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、保留1名(中村理事)

第2号議題 令和5年度決算について

原案通り承認

賛成14名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対1名(中村理事)

第3号議題 規則第26条による理事・監事の推薦について

理事の推薦について：原案通り承認

賛成11名(森田会長、尾形副会長、原副会長、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事) 保留4名(島田理事、菊池理事、中村理事、高橋理事)

監事の推薦について：否決

賛成6名(森田会長、原副会長、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事)、保留4名(木村理事、三井理事、正村理事、森田理事)、反対5名(尾形副会長、島田理事、菊池理事、中村理事、高橋理事)

監事候補の再審議(志村監事留任)：承認

賛成8名(尾形副会長、島田理事、菊池理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

監事候補の再審議(武藤監事)：承認

出席理事全員異議なし

第4号議題 正員 JG1KTC 高尾義則氏を当連盟から除名する件

原案通り承認

賛成10名(森田会長、原副会長、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、森田理事、高橋理事)、反対4名(尾形副会長、島田理事、菊池理事、中村理事)、保留1名(正村理事)

第5号議題 社員からの総会提案について

(JG1KTC 高尾義則氏の会員除名を求める件)

原案通り承認

賛成12名(森田会長、原副会長、島田理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対3名(尾形副会長、菊池理事、中村理事)

第6号議題 役員の選任について

原案を修正して承認

賛成 11 名(森田会長、原副会長、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、保留 3 名(尾形副会長、島田理事、菊池理事)、反対 1 名(中村理事)

第7号議題 第13回定時社員総会について

原案を修正して承認

賛成 14 名(森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 1 名(尾形副会長)

第8号議題 コンテスト規約の一部改正について

原案通り承認

出席理事全員賛成

第9号議題 選挙管理会管理者の補充について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、尾形副会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 1 名(中村理事)

第10号議題 QSLが転送できる局のリストを提供する件について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、原副会長、島田理事、菊池理事、木村理事、種村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田理事、高橋理事)反対 1 名(尾形副会長)

第11号議題 前会長高尾氏の飲食費請求に関する監事の調査結果について

調査結果の報告・説明

第12号議題 学校社团局の助成制度変更(ボーイスカウトを追加)に関してまたPRについて

原案通り承認

出席理事全員異議なし

(2) 第73回理事会

開催日 令和6年6月23日

場 所 住友不動産・ベルサール西新宿(Room 5)

出席理事 森野理事、大矢理事、菊池理事、山内理事、木村理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、坂井理事、森田耕司理事、中村理事、三井理事、正村理事、森田喜邦理事、高橋理事

議 題

第1号議題 会長の選定について

推薦候補(森田耕司理事)承認

出席理事全員異議なし

第2号議題 副会長および常務理事の選定について

副会長 推薦候補(木村理事、三井理事)承認

出席理事全員異議なし

常務理事 推薦候補(山内理事、坂井理事)承認

出席理事全員異議なし

(3) 第74回理事会

開催日 令和6年7月27日、28日

場 所 当連盟 本部会議室およびWeb会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第1号議題 定款改正による規則の一部改正について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第2号議題 理事会規定の一部改正について

原案を一部修正して承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第3号議題 委員会の設置について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第4号議題 参与の選出について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事) 反対 1 名(松田理事)

第5号議題 定款改正による D-STAR ガイドラインの一部改正について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第6号議題 アマチュア無線フェスティバル実行委員会規程の一部改正について

原案を一部修正して承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第7号議題 地方本部会計処理要領(案)の扱いについて

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第8号議題 IARU 第3地域総会への派遣について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

森田理事、高橋理事) (中村理事は交通機関の遅れにより欠席)

(4) 第 75 回理事会

開催日 令和 6 年 8 月 31 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第 1 号議題 顧問の解任について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 2 号議題 クラブ規程及び助成に関する規程の改正について

原案を一部修正して承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議題 IARU 第 3 地域 HF バンドプラン委員会による 40m バンドプラン案に対する JARL の意見

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

(5) 第 76 回理事会

開催日 令和 6 年 11 月 23 日、24 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

[審議順序]

23 日：第 1 号、第 2 号、第 3 号、第 4 号、第 5 号、第 6 号、第 7 号、第 10 号、第 11 号

24 日：第 8 号、第 9 号 (菊池理事はオンライン参加。中村理事は所用により欠席)

議 題

第 1 号議題 令和 7 年度地方本部費の配分について

原案通り承認

賛成 13 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 2 名 (森野理事、菊池理事)

第 2 号議題 令和 7 年度連盟行事予定について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、

正村理事、森田理事、高橋理事)

第3号議題 デイトンハムベンション及びドイツ Hamradio への出展について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第4号議題 コンテスト規程の改正について

原案を一部修正して承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第5号議題 アワード規約の改正について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第6号議題 「地方本部長・支部長連絡会議」の創設について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第7号議題 地方本部会計処理要領の制定について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第8号議題 QSL 問題対策委員会からの提案について

交信証及び受信証転送取扱い規程の一部見直し：原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

JARL 版電子 QSL の進め方：原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第9号議題 中国地方本部長について

松田地方本部長へ文書送付費用の返還を求める件：承認

賛成 13 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、正村理事、森田理事、高橋理事)(利害関係人である松田理事は決議には参加しなかった)

松田氏に対し中国地方本部長の辞任を勧告する件：承認

賛成 13 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、正村理事、森田理事、高橋理事)(利害関係人である松田理事は決議には参加しなかった)

第 10 号議題 UHF 帯以上の交信記録認定基準について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 11 号議題 JARL NEWS の編成案について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

(6) 第 77 回理事会 (文書による)

理事会の決議があったものとみなされた日 令和 6 年 12 月 12 日

議 題

第 1 号議題 リビアアマチュア通信協会 (LCAS) の IARU 加盟について

原案通り承認

(7) 第 78 回理事会

開催日 令和 7 年 1 月 8 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第 1 号議題 アマチュア無線フェスティバルハムフェア 2025 について

次の二項目について：承認

①2026 年以降のハムフェアは、ハムフェア実行委員会により作成された開催要項案（概要）と予算を理事会において審議し承認する

②2025 年の入場料、出展者負担金は値上げせず、本部からの事業費として必要な金額を明確にし、2 月の理事会において予算決定する

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 2 号議題 「特定資産」の取り扱いについて

継続協議

第 3 号議題 国際アマチュア無線連合(IARU)創立 100 周年記念ランチョンへの参加について

参加の可否について情報収集を行い、参加する場合の参加者については森田会長に一任

(8) 第 79 回理事会

開催日 令和 7 年 2 月 22 日、23 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

森田会長は所用により欠席

議 題

第 1 号議題 役員旅費規定の改正について

原案を一部修正して承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 2 号議題 特別記念局の開設について

原案を一部修正して承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議題 ハムフェア 2025 について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 4 号議題 JARL100 周年事業について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 5 号議題 QSL 問題対策委員会からの提案について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 6 号議題 JARL ホームページ 地方だよりの WEB 化について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 7 号議題 国際関係事業について

(1) ARISS 国際会議への派遣について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

(2) 第 22 回 IARU ARDF 世界大会の派遣について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

(3) IARU リージョン 3 ARDF 競技大会 (2026・令和 8 年) の開催 に関して

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 8 号議題 キャンペーンについて

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 9 号議題 地方本部・支部の事業としての会員増強企画の復活について

否決

賛成 3 名(森野理事、菊池理事、中村理事)、反対 11 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

会員増強企画に対し地方本部・支部に対し報奨金を支払うということ
は行わず、会員を増やすための施策検討：承認

賛成 13 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 1 名(森野理事)

第 10 号議題 連盟の特定資産の取り扱いについて

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 11 号議題 令和 7 年度事業計画案について

原案を一部修正して賛成

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 12 号議題 令和 7 年度収支予算案について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 13 号議題 選挙規程の一部改正について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 14 号議題 選挙管理会管理者の選任について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 15 号議題 第 14 回定時社員総会の開催について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、

菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 16 号議題 組織強靱化・コンプライアンス委員会からの中間報告について

中間報告について社員に意見をもとめていくこと：承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 17 号議題 コンテスト規約の改正について

原案を一部修正して承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 18 号議題 新設アワードの発行について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 19 号議題 JARL 国際交流ボランティア制度創設について

原案通り承認

賛成 14 名(木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

以上

令和7年5月12日

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

令和6年度 委員会報告

連盟の各委員会について、別紙のとおり令和6年度の委員会開催及び検討状況等についてご報告いたします。

委員会名	委員長	担当課
1. 国際問題検討委員会	JE1MUI 遠藤 静夫	国際課
2. 組織強靱化・コンプライアンス委員会	7K1BIB 山内 貴博	総務課
3. 体験運用推進・ニューカマー支援委員会	JR3QHJ 田中 透	会員課
4. Q S L問題対策委員会	JH3GXF 安孫子 達	会員課
5. アマチュア無線フェスティバル実行委員会	JG1DKJ 澤田 倉吉	会員課
6. A R D F委員会	JF0JYR 高橋 哲也	会員課
7. アワード委員会	JR1DTN 佐藤 哲	会員課
8. コンテスト委員会	JR1LQK 土屋 勝	会員課
9. 電磁環境委員会	J01VVT 幸島 徹	会員課
10. 周波数委員会	JR1KHM 小谷 元史	会員課
11. ワイヤレスネットワーク委員会	JH1BSJ 芝山 仁	会員課
12. D - S T A R委員会	7M3TJZ 安田 聖	会員課
13. 大阪・関西万博記念局実行委員会	JR3QHJ 田中 透	会員課
14. 100周年記念事業ワーキンググループ	JA5SUD 森田 耕司	総務課

令和7年4月23日

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

国際問題検討委員会・令和6年度委員会報告

国際問題検討委員会
委員長 遠藤 静夫

当委員会の令和6年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

1. 令和6年8月8日（木）Zoomによるオンライン会議で開催
参加者：JE1MUI（委員長）、JA1BJI、JH1NBN、JK1MZT、JH6RTO、JA9AMR
審議事項：IARU第3地域HFバンドプラン委員会への対処及び第3地域総会の準備
 - (1)第3地域HFバンドプラン委員会提案の40mバンドプランの審議と質問事項への回答案の作成
 - (2)JARL理事会の第3地域40mバンドプランの初期検討結果についての諮問に対する答申案の作成
 - (3)第19回第3地域総会へのJARLレポート（案）の審議
 - (4)第3地域役員構成の変更提案への対処方針の審議
 - (5)第3地域理事及び事務局長候補者の推薦案の審議
 - (6)第19回第3地域総会JARL代表団員の推薦案の審議

2. 令和6年10月8日（木）Zoomによるオンライン会議で開催
参加者：JE1MUI（委員長）、7K1BIB、JA1BJI、JK1MZT、JH6RTO、JA9AMR
審議事項：IARU第3地域総会への対処方針策定
 - (1)第3地域憲章（Constitution）改訂提案への対処方針
 - (2)第3地域HFバンドプラン委員会提案議題への対処方針
 - (3)第3地域役員選挙への対処方針
 - (4)JARLから推薦する第3地域の役職者
 - (5)第3地域総会参加者の役割分担

3. 次年度以降の国際問題検討委員会継続理由
2027年世界無線通信会議（WRC27）に向けてアマチュア無線に影響がある

【1】

課題があり、ITU-R 及び APT の準備会合 APG27 での審議への JARL の対応方針等の審議が必要である。また、IARU の組織改編提案への JARL 対応方針等及び ARISS 年次総会への JARL 対応についても審議が必要である。

以上

令和7（2025）年5月11日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 JA5SUD 森田耕司 殿

組織強靱化・コンプライアンス委員会
委員長 7K1BIB 山内貴博

組織強靱化・コンプライアンス委員会
令和6年度委員会報告

当委員会の令和6年度における活動につき次のとおり報告いたします。

1. 諮問事項（令和6（2024）年7月27日開催の第74回理事会決議）

一般社団法人発足後10年以上を経過して露呈した組織的な問題点（組織構造、選挙制度、コンプライアンス遵守体制、財政問題等）を分析し、組織の強靱化のための総合的な改革案を検討し、2025年6月の定時社員総会への提案を目指し、2025年初頭を目処に理事会に対し答申されたい。

2. 成果

（1）「地方本部長・支部長連絡会議」の創設提案

「地方本部長・支部長連絡会議」を創設することを提案し、令和6（2024）年11月23日開催の第76回理事会において承認していただきました。

地方本部長・支部長連絡会議は、地方組織の事業に関する情報共有と意見交換、及び地方組織の事業運営に関する理事会への提言等を目的とするものです。

令和7（2025）年2月24日には、「地方本部長・支部長連絡会議」の第1回会合が開催されました。同連絡会議の下に設置された「監査長分科会」は、第1回会合が令和7（2025）年1月24日に、第2回会合が3月15日に開催されました。

（2）組織強靱化のための制度改革検討報告書（中間報告）の提出

令和7（2025）年2月19日に、組織強靱化のための制度改革検討報告書（中間報告）を会長宛提出致しました。同報告書は、以下の提案事項を含むものです。

- （1）社員総会について
- （2）理事会について
- （3）社員総会・理事会の開催費用について

- (4) 役職者の交代時期について
- (5) 役職者の年齢制限・重任制限について
- (6) 選挙制度について
- (7) 表彰制度について

(3) 組織強靱化のための制度改革検討報告書（最終報告）の検討

上述の中間報告に関するアンケート等を踏まえ、最終報告の検討を進めました。

3. 委員会の開催状況

委員会は、オンラインにて下記の会議を行ったほか、逐次、Discord 上で議論を行いました。

・令和6（2024）年

- 8月26日 第1回 委員顔あわせ、議題の検討
- 9月18日 第2回 幹部選任方法について
- 10月23日 第3回 幹部選任方法について
- 11月20日 第4回 財政、表彰について
- 11月23～24日 第76回理事会
「地方本部長・支部長連絡会議」の創設提案
- 12月17日 第5回 表彰について

・令和7（2025）年

- 1月22日 第6回 中間報告書の検討
- 2月13日 第7回 中間報告書の検討
- 2月19日 中間報告書を理事会に提出
- 2月22～23日 第79回理事会（中間報告）
- 3月5日～24日 オンラインアンケート

以下は、令和7（2025）年度の活動であるが便宜的に掲げる。

- 4月1日 第8回 アンケート結果を踏まえた意見交換
- 4月21日 アンケート結果の関係者への公表（73名から意見）
- 4月30日 最終報告書（案）の検討（Discord 上にて）
- 5月2日 オンライン説明会・意見交換会第1回（社員・役員）
- 5月4日 オンライン説明会・意見交換会第2回（社員・役員）
- 5月8日 役員懇談会（役員のみ）

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

体験運用推進・ニューカマー支援委員会・令和6年度委員会報告

体験運用推進・ニューカマー支援委員会
委員長 田中 透

当委員会の令和6年度における開催状況及び検討内容等について、以下のとおりご報告いたします。

- 第5回 令和6年4月22日(月) オンライン会議
議 題 ・体験運用マニュアルのWeb ページについて
・学校社团局の助成制度について
・体験運用グッズ (のぼり等) について

決定事項

- 1) 体験運用マニュアルのWeb ページについて
 - ・令和6年4月23日にJARL Webで公開することを決定。
- 2) 学校社团局の助成制度について
 - ・新たな規程の原案を作成し、第72回理事会に提出。
- 3) 体験運用グッズ (のぼり等) について
 - ・議案書を作成し、理事会に提出。

- 第6回 令和6年6月6日(木) オンライン会議
議 題 ・学校社团局の助成制度について
・体験運用グッズ (のぼり等) について
・ハムフェアでの体験運用について

決定事項

- 1) 学校社团局の助成制度について
 - ・第72回理事会で承認されたため、ボーイ・ガールスカウト関係者に情報を公開し、登録クラブの話を案内していくこととした。
 - ※案内をした結果、数組のボーイスカウトクラブが登録クラブとなった。また、更なる増加が見込まれている。
 - また、ボーイスカウト以外の青少年を対象としたクラブについても、今後は助成対象として検討していく。

2) 体験運用グッズ（のぼり等）について

- ・体験運用の日（10月19・20日）までに、のぼりを完成させる。

3) ハムフェアでの体験運用について

- ・実施は決定したが、具体的な方法については引き続き検討する。

第7回 令和6年7月24日(水) オンライン会議

議 題 ・ハムフェアでの体験運用について

決定事項

- ・実施方法、必要機材、ブースのレイアウト等を決定。ただし、更に調整が必要がなため、ハムフェア開催日までに別途打ち合わせを実施する。

体験運用推進・ニューカマー支援委員会が引き続き検討を進める事項

- ・各支部等が体験運用を円滑に行えるよう体験運用グッズの配布することを検討している。支部が率先して実施できる仕組み作りを進める。
- ・青少年向けイベント参加者が、アマチュア無線の世界に入りやすい仕組みを設計する。
- ・JARD と連携し、ニューカマーセミナーを地方本部や支部で開催し、免許取得後のフォローを行うことを検討する。
- ・昨年度のハムフェアで JARD が主催した「アマチュア無線の魅力向上アイデアコンクール」の受賞提案のうち、特に青少年の普及・啓発に資する企画に、本委員会としても連携・参画していくことを検討する。

JARD の見解や実施計画を確認のうえ、本委員会として可能な形で協力・連携を図る。委員会内での負担は大きいが、広報・普及の面からも意義深い取り組みであり、将来的な活動方針として検討を進めたい。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

QSL 問題対策委員会・令和 6 年度委員会報告

QSL 問題対策委員会
委員長 安孫子 達

当委員会の令和 6 年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

【Ⅰ】今年度の委員会開催状況

●第 3 回 令和 6 年 4 月 18 日(木) オンライン開催

(議 題)

- ①QSL ビューローの現状
- ②QSL ビューローの合理化と今後
- ③電子 QSL の仕様について

(決定事項・継続する事項等)

QSL カード発行数見直しのため、現状を会員に説明する方針を決定した。また、カード転送可能なコールサインリストについて検討することとした。ビューロー業務効率化に向けて、カード区分機導入やソフト実装の検討を継続する一方、電子 QSL 仕様についても議論を進めることとなった。

●第 4 回 令和 6 年 5 月 16 日(木) オンライン開催

(議 題)

- ①QSL ビューローの合理化と今後
- ②電子 QSL の仕様について

(決定事項・継続する事項等)

QSL カード区分機導入、カード転送可能なコールサインリストの利用方法について詳細検討を継続した。電子 QSL システムについては、設計方針、運用方法、具体的仕様の検討を続け、ユーザビリティ向上とデータ管理の適正化を目指すこととなった。

●第 5 回 令和 6 年 6 月 20 日(木) オンライン開催

(議 題)

- ①QSL ビューローの合理化と今後
- ②電子 QSL の仕様について

(決定事項・継続する事項等)

作成した仕様書案を元に、電子 QSL システムの仕様詳細を議論し、開発・運用費用の試算と予算確保方法等を検討することとした。さらに、会員・非会員の差別化やアワード申請連携について引き続き議論をおこなった。

●第6回 令和6年10月3日(木) オンライン開催
(議題)

- ①QSL 印刷の抑制効果の検証
- ②転送規定の見直しについて
- ③電子 QSL の今後のスケジュール

(決定事項・継続する事項等)

QSL 印刷抑制機能の効果を確認し、QSL カード不要局のリスト作成を進めることとした。転送規定は判読不能カードの返送基準や転居時対応の明確化を検討し、電子 QSL システムは 100 周年記念アワードとの連携を視野に 2026 年 6 月リリースを目指すこととなった。

●第7回 令和6年10月18日(木) オンライン開催
(議題)

- ①QSL 印刷の抑制効果の検証と追加策
- ②転送規定の見直しについて
- ③電子 QSL の今後のスケジュールと試験運用について

(決定事項・継続する事項等)

QSL カード受領を希望しない局の登録制度を検討し、転送規定はカードの仕様や制限事項の見直しを進めることとした。電子 QSL システムについては、開発業者への見積依頼と仕様の詳細検討を進めることとなった。

●第8回 令和6年10月31日(木) オンライン開催
(議題)

- ①QSL 印刷の抑制効果の検証と追加策
- ②転送規定の見直しについて
- ③電子 QSL の今後のスケジュールと試験運用について

(決定事項・継続する事項等)

転送規定については、カード枠線の指定や転居先不明カードの転送期限等を検討した。電子 QSL システムは、セキュリティ対策やアワード申請対応を含むシステム仕様と開発体制の検討を進めることとなった。

●第9回 令和6年11月14日(木) オンライン開催
(議題)

①QSL 印刷の抑制効果の検証と追加策

②転送規定の見直しについて

③電子 QSL の今後のスケジュールと試験運用について

(決定事項・継続する事項等)

転送可能なコールサインリストについて、局名録掲載と転送可否を区別して扱うことを検討し、転送規定の改定案の検討を継続することとした。電子 QSL システムは 100 名規模での実証実験計画を立案し、セキュリティや利用規約、100 周年記念アワードとの連携の検討を進めることとなった。

●第 10 回 令和 6 年 12 月 5 日(木) オンライン開催
(議 題)

①理事会提出議案の結果報告

②今後のスケジュールについて

(決定事項・継続する事項等)

QSL カード転送規定の変更案および「QSL カード受け取りを希望 しない局リスト」の申請について、理事会での承認が報告された。電子 QSL システムについては実証実験を通じた開発費用の削減を図り、外部委託と内部開発の比較検討を行うこととした。

また、将来的なアワード申請連携や運用ログ統合の可能性を視野に入れつつ、まずは基本機能の安定稼働を優先することとなった。

●第 11 回 令和 7 年 1 月 23 日(木) オンライン開催
(議 題)

①QSL の受領を希望しない局の募集方法について

②電子 QSL テスト運用方法の検討

(決定事項・継続する事項等)

「QSL カード受け取りを希望しない局リスト」の申請フォームについて認証方法や文言について詳細を検討し、より分かりやすい表現への修正を実施した。電子 QSL システムは 2026 年 2 月理事会での予算要求を見据え、AWS 環境でのテスト運用を行い、3 月末までに デモ版の作成を目指すこととなった。支部との連携体制を構築し、段階的な実証実験を進めることとした。

●第 12 回 令和 7 年 3 月 5 日(水) オンライン開催
(議 題)

①電子 QSL 試験実施について

②「QSL カード受け取りを希望しない局リスト」の運用について

③転送できない局宛での QSL 増加などによる転送停滞解消案について

(決定事項・継続する事項等)

【4】

電子 QSL 試験の初期テストを 5 月末頃から委員のみで開始する見込みで、テスト参加者は段階的に増やしていく計画で、11 月までに仕様を固めて次年度予算要求に間に合わせる事が確認された。

また、「QSL カード受け取りを希望しない局リスト」の運用についてはメールで事務局に送る形で運用を開始することとして、状況を見て改善を検討することとなった。

【Ⅱ】継続して検討する内容等

令和 6 年 11 月 23 日に開催された第 76 回理事会および令和 7 年 2 月 22・23 日に開催された第 79 回理事会において報告を行った JARL 版電子 QSL 案について委員会委員がモックアップを作成し、令和 7 年 4 月以降に各地方本部からテストユーザーの協力をいただき、実際にモニターしていただいた上で、意見などを踏まえて最終的な仕様を確定する。その後、11 月の理事会で、委員会が作成したものをそのまま本格稼働させるのか、システム会社に正式版の再構築を発注するのか、方向性を決定することとしたい。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

アマチュア無線フェスティバル実行委員会・令和6年度委員会報告

アマチュア無線フェスティバル実行委員会
委員長 澤田 倉吉

当委員会の令和6年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第3回 令和6年6月1日

- 議 題
- ・ 準備状況と今後のスケジュール
 - ・ 出展団体の審査
 - ・ 会場使用計画
 - ・ その他

決定事項・継続事項等

- ・ 今年の出展団体:185 団体、小間数 304 小間
7月10日に、国立オリンピック記念青少年総合センターで出展者説明会を開催することを報告。
- ・ 各団体の出展審査 条件付等を含め、185 団体が承認された。
初出展団体:クラブ 12 団体、ビジネス 1 社。
注意喚起ならびに条件付け了承のクラブ出展:3 団体
食品を扱うクラブ:2 団体(完全包装物のみであることを条件)
「学校」登録クラブ:4 団体。代表者が22歳未満の条件に該当することから、半額の出展料として承認。
- ・ 資料3の会場使用計画の出展小間数を事務局より報告した。
- ・ 出展者説明会の次第・開催についての説明。
- ・ 取材申込みの対応は、昨年と同様に雑誌やTV、ラジオなどの媒体がある場合は、プレスとしての対応し、そのほかについては入場券を購入の上、入場してもらうこととした。
- ・ 実行委員長からハムフェア情報の広報について JARL ホームページのサポートを目的に、ハムフェア情報を発信できるように hamfair.jp のドメインを活用し、関東地方本部各支部ともリンクしてハムフェア情報を発信する報告があった。

第1回 令和6年10月5日(土)

- 議 題
- ・ ハムフェア2024 実施報告
 - ・ ハムフェア2025 基本構想
 - ・ その他

決定事項・継続事項等

・ハムフェア 2024 開催結果報告

出展数が 185 団体、304 小間と、2023 年より 13 団体、28 小間と増加となった。

来場者数は、のべ 45,000 人で 2023 年より 2,000 人多かった。

・ハムフェア 2024 開催概要、キャッチフレーズ

キャッチフレーズは、「GYM-EX で はばたこう アマチュア無線の世界」とし、キャッチフレーズに基づき、「新たな仲間との出会いと情報通信への理解を深め、アマチュア無線の楽しみ方」呼びかけることになった。

・ハムフェア 2025 収支予算

現状の諸物価高騰、来年の万博開催による人件費等の高騰が見込まれるため、現在の出展料について 5% の値上げを行うこととし、入場料については一般料金を 1,000 円値上げの 3,000 円、会員は 1,000 円のまま据え置きすることとし、予算を決定した。

第 2 回 令和 7 年 2 月 1 日(土)

議 題 ・メインビジュアル並びに関連業者の選定について

- ・出展参加要項について
- ・会場使用計画について
- ・ハムフェア 2025 会場内外の事故防止策について
- ・その他

決定事項・継続事項等

- ・今回は、9 点のデザイン提出があり、協議の結果 1 点を決定した。

また、印刷・運営・小間造作・電気工事・警備・清掃の業者については、見積の提出のあった業者へ実行委員長がヒアリング等を行ったことの報告があり、費用面等からそれぞれの業者を選定した。

- ・出展参加要項については、「出展のお願い」を含めて、実行委員会において内容をまとめ、また、出展料についても、代表者が JARL 会員でない場合も「一般価格」を設定することで、出展申込を受け付けることとなった。
- ・出展団体の申込状況により、主催者対応小間数は調整することとした。
- ・後援団体へ提出する「ハムフェア 2025 会場内外の事故防止策」の内容を確認した。
- ・入場券や出展者証について、QR コード対応を行うことで準備を進め、また、実行委員会主体で準備を進める。

○ アマチュア無線フェスティバル実行委員会分科会

第 1 回 令和 6 年 11 月 3 日(日)

議 題 ・ハムフェア 2024 開催結果報告

- ・入場者の増加を目指す PR 方法

X などの SNS を活用や販売店に案内・ラジオやローカル TV、YouTuber の協力と

活用で世界に誇れる日本のハムフェアのPRを行うことや、会期中にプログラム体験・アウトドア体験・体験運用・電子工作体験・ライセンスフリーコーナーからアマチュア無線へ他の趣味の団体等とのコラボやプログラム系のイベントを行うことで、集客効果をあげるなどの意見があった。

- ・支出を抑えるための改善策の検討
出展団体の小間数を最初に設定、小間の場所によって出展料設定を変える、電気設備を必要とするブース場所を設定などの意見があった。
また、説明会と抽選会の見直しなどの意見もあった。
いろいろな意見を踏まえて、次回の分科会にて検討することとした。
- ・アンケート調査や各意見をもとに改善策の検討。
アンケートの結果より、開場前の待機列や、記念局のリモート運用などについて意見があった。
- ・その他

第2回 令和6年12月5日(木)

議 題 ・入場者の増加を目指すPR方法

ハムフェアのコンテンツとPR方法に二分して各委員から意見交換等を行う。
コンテンツごとに集約、会場割、パンフレット、ブース紹介、コンテンツごとに
してはどうか。SNSの旧Twitter(ツイッター)等で、出展者がハムフェアに集
まれの広報PRを行う。FM放送、ラジオ放送等メディアの活用でハムフェアの事
前告知でPRする。テレビでのハムフェアPR、YouTuberの協力と活用。

- ・支出を抑えるための改善策の検討
ブース抽選会の見直し、webで掲示し、JARL本部で決める。実際の入場者を発
表、入場者数を把握するため電子QRコードでの入場方法の実施を検討する。
木曜日の午後からを使用しない方向で変えていく。電気設備を必要としないブ
ースを集め固めると最低限の電気使用ブースとする。入場券等7千人なので身
の丈に合わせる8000平米から5000平米当たりの会場での検討。コミティアで
は、ボランティアスタッフを募集している。お手伝いの募集をする。地域イベン
トは手作り。ハムフェアも検討を変えられるところから変えること。
- ・アンケート調査や各意見をもとに改善策の検討
ハムフェア2024アンケート集計結果をHamfair.jpのWebで12月3日に発表し
た。450名のアンケート集計結果からPRにつながるアンケートの意見を尊重す
る。内容ではアイボール場の希望が多い。JARL会員年齢層に合っているが新し
い若者向けの技術的発表の場など2極化も必要かと思う。自作コンテストにソ
フトウェア部門を考えてほしい。
- ・その他

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

ARDF委員会・令和6年度委員会報告

ARDF委員会
委員長 高橋 哲也

令和6年度のARDF委員会の開催はありませんでしたが、メーリングリストでの活動を次のとおりご報告いたします。

1. ARDF 競技大会の開催

地方・支部・公認 ARDF 競技大会開催者より、開催申出が連盟事務局に提出され、ARDF 委員会で審議のうえ、開催することを承認した。

開催状況は別紙のとおり。

2. ARDF 審判員講習会の開催

地方・支部 ARDF 審判員講習会開催者より、開催申出が連盟事務局に提出され、ARDF 委員会で審議のうえ、開催することを承認した。

開催状況は別紙のとおり。

3. IARU 第3地域 ARDF 選手権大会

2024年に開催を予定していた IARU 第3地域 ARDF 選手権大会は、開催を引き受ける団体が無かったため開催されなかったのので了承した。

4. 第22回 IARU 世界 ARDF 選手権大会

2025年8月16日から22日までリトアニアで第22回 IARU 世界 ARDF 選手権大会が開催に伴い、2024全日本 ARDF 競技大会成績優秀者から JARL 選抜選手の選考をおこなった。

各競技クラスで3名に満たないところについては、JARL Web で世界選手権大会の競技に耐えられる方を応募資格として出場希望の募集をおこなった。

5. 2024 全日本 ARDF 競技大会

2024 全日本 ARDF 競技大会の運営をする関東地方本部から同競技大会準備の進行状況について報告があったのので了承した。

6. その他

JARL 会員より、JARL が主催でない ARDF 競技大会で JARL の ARDF 用 TX 機を使用したいため借用の相談があり、ARDF 委員会審議のうえ、JARL が主催する公認 ARDF 競技大会として開催することを条件として承認した。

以上

2024地方ARDF競技大会開催状況

地方本部	開催日	開催場所
関東	令和6年5月12日	群馬県吾妻高山村
東海	令和6年11月17日	静岡県掛川市 高天神城址周辺
関西	令和6年11月2日	京都府宇治市広野町八軒屋谷1 京都府立山城運動公園
四国	令和6年5月12日	徳島県徳島市大原町
北陸	令和6年10月6日	富山県砺波市 県民公園頼成の森
信越	令和6年5月26日	新潟県五泉市「村松公園」周辺

2024支部ARDF競技大会開催状況

支部	開催日	開催場所
茨城県	令和6年11月23日・24日	茨城県水戸市 水戸市森林公園
群馬県	令和6年5月11日	群馬県吾妻郡高山村
香川県	令和6年11月10日	香川県観音寺市大野原町丸井 萩の丘公園
新潟県	令和6年5月25日	新潟県五泉市「村松公園」周辺

2024公認ARDF競技大会開催状況

県名	開催日	開催場所
栃木県	令和6年4月20日	栃木県那須烏山市三箇県民休養公園
愛知県	令和7年1月11日	愛知県豊田市 昭和の森
広島県	令和7年3月16日	広島県呉市野呂山
香川県	令和7年1月26日	香川県さぬき市 みろく公園周辺
長崎県	令和6年4月21日	長崎県平戸市
長崎県	令和7年3月30日	長崎県平戸市
秋田県	令和6年8月4日	秋田県仙北郡美郷町千屋字大台野 美郷町ラベンダー園周辺
長野県	令和6年4月13日	長野県上伊那郡南箕輪村「大芝公園」周辺

2024ARDF審判員講習会開催状況

県名	開催日	開催場所
静岡県	令和6年10月19日	静岡県静岡市 静岡県立科学技術高等学校
香川県	令和6年7月28日	香川県丸亀市 栗熊コミュニティセンター
愛媛県	令和6年6月2日	愛媛県伊予郡 松前総合文化センター
愛媛県	令和6年10月13日	愛媛県伊予郡 松前総合文化センター
長崎県	令和7年3月29日	長崎県平戸市 平戸市東地区交流センター
福井県	令和7年3月22日	福井県鯖江市 鯖江市文化の館

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

アワード委員会・令和6年度委員会報告

アワード委員会
委員長 佐藤 哲

当委員会の令和6年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第1回 令和6年10月27日(日)

- 議題 ・ アワード発行状況報告 2024年4月～9月発行状況報告を行った。
(アワード: 542枚・ステッカー: 231枚)
全日本・全世界アワードについての累計発行数を報告した。(全日本: 45件 全世界: 24件)
- ・ アワードの特記について
総会にて要望のあった「デジタル」特記から「FT8」を別に、「オールモード(CW/FM/AM/SSB)」について検討し、「オールモード」はデジタルや他のモードも含まれる、また、デジタルモードも増える可能性もあるため、現状のままだと良いとの意見により変更しないこととした。
 - ・ アワード申請料等の見直しについて
郵便料金値上げや諸物価高騰により紙の価格等も値上げされ、以前よりも増刷費用も高くなってくるため、申請料を変更することとした。
アワード: 会員1,500円、非会員3,000円、ステッカー: 会員750円、非会員1,500円
 - ・ 有償で作成の盾(WACA・WAGA・VU-10000、ポイント楯など)の申込料金も、楯のデザイン・価格の高騰などにより、会員10,000円、非会員20,000円とすることとした。
 - ・ アワードマスターの申請料(賞状とピンを贈る)は、会員3,000円とし、非会員価格も設定し、非会員6,000円とすることで承認された。
 - ・ DXCC フィールドチェックのJARL手数料について、2003年より変更を行っていなかった。
このため、JARL手数料の価格変更(1,000円から2,000円)とハムフェアのイベント手数料についても会員(2,000円)・非会員(4,000円)の価格設定を行うこととした。
 - ・ 総会で要望のあったネーミングライツの導入は、1年間と期間を区切ったアワードを作成し、順位付等を行った際に、ドネーション形式で企業に協賛を行っていただくのが良いのではとの意見があり、期間アワードの新設を検討することとなった。
 - ・ 来年関西される「EXP02025」2025年大阪・関西万博に関するアワードと「JARL創立100周年記念アワード」について、それぞれのアワード条件を検討した。

第76回理事会 アワード規約等の一部改正承認

(アワード規約ならびに全日本・全世界10000局賞規約の一部改正について)

◆ 提案内容

「アワード規約」第13条の(手数料)について、昨今の諸物価高騰により、印刷費用の増額や郵便料金の2割増などから、アワード申請料は現在の会員価格1,000円を1,500円(非会員は3,000円)、ステッカー申請料を現在の会員価格500円を750円(非会員は1,500円)に改正し、また、QSLカード所持証明手数料につきましても、平成24年(2012年)から料金の変更を行っていなかったため、今回の改正にあわせて500円から1,000円に改正を改正といたしたく提案いたします。規約改正につきましては、改正の承認を得た後、令和7年4月1日より施行したいと存じます。
「全日本・全世界10000局賞」の規約につきましても、アワード規約と同様に申請料の改正を行います。
「全世界10000局賞」規約につきましては、会員からリスト作成方法についての要望があり、わかりやすい説明に改正することといたしました。

また、理事会より諮問のありました「アワードの活性化に向けた施策の検討」につきましては、アワードハントの楽しみや魅力を、既存のAJAのルールを活用し、1年間という期限内で、競技性を持たせた「年間AJA (All Japan Award)」の新設を検討しています。

今回の委員会において、アワード盾の申請料についても検討を行い、盾の作成と送料が申請料を超えてきているため、WACA・WAGA・VU-10000賞・ポイント盾などの申請料は、会員10,000円、非会員20,000円に変更することといたしました。

アワードマスターの料金につきましても、会員価格を3,000円とし、非会員価格の設定を行うこととし、非会員は6,000円の申請料とします。

また、ARRLのDXCC申請におけるJARL手数料について、DXCCの基本QSO数(101QSO)ごとに、現在は1,000円ですが、平成15年(2003年)より変更となっていないため、2,000円に変更することとし、ハムフェア会場での受付について、会員2,000円・非会員4,000円と、非会員価格の手数料設定をすることといたします。

○「アワード規約」の一部改正案

(手数料)

第13条

アワード申請手数料は、1枚につき 3,000円 とする。ただし、JARL 会員が申請する場合は、1枚につき 1,500円 とする。

2 ステッカー申請手数料は、1枚につき 1,500円 とする。ただし、JARL 会員が申請する場合は1枚につき 750円 とする。

3 (省略)

4 QSL カードの所持証明手数料は、1件のアワードについて QSL カード 50枚まで 1,000円、50枚を超える場合は、50枚ごとに 1,000円 を加算する。

附 則

この改正規約は、令和7年4月1日から施行する。

令和6年11月23日改正 第13条 第1項、第2項、第4項

○「全日本10000局賞」規約の一部改正

2. 申請方法等

(9) 手数料：このアワードは、各賞とも 1,500円 (会員でない場合は 3,000円) です。

○「全世界10000局賞」規約の一部改正

2. 申請方法等

(9) 手数料：このアワードは、各賞とも 1,500円 (会員でない場合は 3,000円) です。

◆条件

・交信局リストは、各賞に必要な局数を 数字・アルファベット順 に記入する。

下記の文面削除

・「ITUゾーン」リストに記入する局は、市町村名まで記入する。旧ソ連の局について OBLAST (REGION) ナンバーが判明しているものはこれを付記すること。

記入例の表の差し替え

第79回理事会 新設アワード承認

(新設アワード「年間AJAアワード」)

◆ 提案内容

第74回理事会(令和6年7月27日・28日開催)において、諮問のありました「アワードの活性化に向けた施策」について、当委員会では令和6年10月27日に委員会を開催し、アワードハントの楽しみや魅力を、既存のAJAのルールを活用し、1年間という期限内で、競技性を持たせたアワードの発行をすることで、アワードの活性化を目指すものです。新設アワードの発行を行うこととし、規約案をとりまとめました。

年間AJAアワードの新設について

アワード名称	年間AJAアワード (All Japan Award)
内容	1. 同一年度 (4月1日から3月31日) に、2以上のアマチュアバンド (3.8MHz 帯は3.5MHz 帯に含まれるものとする) を使用して、日本国内の異なる市、郡及び区の異なる100局以上のアマチュア局と交信 (SWLは受信) する。 2. 年間交信数の上位10名を特別表彰する。 3. 特記の種類は、AJA と同様とする。 4. QSL カードの取得は不要とする。 5. 申請は同一コールサインで1回とする。 6. 申請期間は、年度終了後の4月1日から4月30日とする。 7. 申請書及び、特別表彰の審査は、申請期間終了後の5月31日までに、JARL 本部でアワード委員が行い、アワード委員長が JARL 担当部署へ報告する。JARL 担当部署は、その報告を以てアワード及び、特別表彰状の発行を行う。 8. アワードの発行番号は付与しない。 9. 本アワードは JARL アワード規約及び、アワード規定を準拠とする。
効果	全市・全郡・全区交信修了者の、次なる目標設定の一助や、受け皿になることに重きを置いている。 一方で、ニューカマーに対しても 年間で異なる市、郡及び区の異なる100局以上とした点で、参加障壁を下げ、将来的に既存の AJA 獲得に向けてのステップアップを期待するものである。
備考	アワード賞状のデザインは、AJA アワードのデザインを流用し、A4 サイズで作成することで、賞状の製作費用を抑え、また、送料も A4 サイズにすることで角2封筒 (180 円) での発送となる。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

会 長 森田 耕司 殿

コンテスト委員会・令和6年度委員会報告

コンテスト委員会

委員長 土屋 勝

当委員会の令和6年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第1回 令和6年11月20日（水）

議題

1. 全コンテスト共通の規約改正
2. その他

決定事項

1. 開催日時表記：AADX は邦文規約を UTC 表記とし、JST 表記を併記する。
マルチオペ2波種目のルール変更：出力分け種目を追加し、参加者の状況により再検討する。
コンテスト参加者のレベルアップを計るため、入賞局のログデータを公開する。
コンテスト規約改正案については次回開催の委員会で検討する。
2. ALL ASIAN DX コンテストの意見募集の結果発表を年内に行う。
関西万博、JARL100 周年に関するイベントについては、コンテストの開催は難しいと思われるが、コンテスト委員会に依頼があった際に対応する。

第2回 令和7年1月19日（日）

議題

1. 全コンテストの規約改正
2. ALL ASIAN DX コンテストの規約改正
3. その他

決定事項

1. QS0 パーティ規約改正し、2026 年より電子申請、電子ステッカー発行を受け付ける。準備が整えば2025 年度から試行して課題抽出を行う。
ALL JA コンテスト等の国内コンテストの規約については、共通規約・書類提出・賞状の電子化等を検討し、一部改正を行う。

2. ALL ASIAN DX コンテストは、新たな種目を設け、また出力ごとの種目に変更し、規約改正を行う。また、規約改正については海外への告知が必要となるので、IARU、ARRL などのブリテンで参加を呼びかける。
3. ハムフェア会場においてコンテストの電話部門シングルオペニューカマー種目 1 位局、電信電話部門マルチオペジュニア種目 1 位局について、会長からの表彰状の授与式を行い、コンテストへの参加に関する興味を持ってもらう。

第3回 令和7年3月5日(水)

議題

1. コンテスト委員会に関わる理事会審議結果の確認
2. 規約改正の説明内容と説明時期の確認(審査分科会・会員)
3. 2025 年コンテスト委員会・審査会スケジュールの確認
4. コンテスト Q&A 改版(今後の予定確認)
5. ログ審査基準の明文化と見直しと LCR 記載内容の見直し
(今後の進め方と予定確認)
6. JARL コンテスト Web ページ改善(状況確認)
7. QS0 パーティ規約に関する協議
8. その他

決定事項

1. 理事会において、QS0 パーティを除くコンテスト規約改正は承認された。
(第79回理事会)
2. QS0 パーティを除く ALL JA、6D、FD、全市全郡、AADX については理事会で規約改正が認められた。細かい文言の調整は委員会に任されたので、懸案となっている箇所の修正を行い、3月10日、審査分科会メーリングリストに投稿する。その後、審査分科会へのオンライン説明会を開催する。
3. システムのリニューアル：新種目の導入、LCR の見直しにつき、各コンテスト開催日までの集計プログラム修正を集計プログラム担当者に依頼する。コンテストプログラム開発者に新種目対応を依頼する。
4. ML において、Q&A の改正箇所を協議する。
5. Score Database の AADX 参加証発行対応は、今年9月を目処に完了するよう依頼する。その他のコンテストに関わる修正も同時期に対応できるよう依頼する。
6. CONTEST Web ページを4月1日公開目標でリニューアルする。
7. QS0 パーティの電子化とステッカーの扱いについて、理事会で規約は承認されなかった。

今後、理事向けにデモ版を実際に体験してもらうことで理解していただくこととした。電子ログ提出者への紙ステッカー提供については事務局との打ち合わせることとなった。QS0 パーティ規約改正の再答申内容を4月末までに決定し、5月開催理事会へ提案する。

8. JARL NEWS は2026年度からタブロイド判になる予定で、2025年度はこれまで通りの冊子形態、ページ数を維持する。コンテストに関する記載も継続される。

JARL100 周年記念事業に関し、過去の結果を電子化し、Web での公開もしくはDVD などの媒体化を行ってはどうか。

● コンテスト委員会審査分科会

令和6年6月22日(土)

議題 第66回 ALL JA コンテスト審査会

令和6年9月15日(日)

議題 第54回 6m AND DOWN コンテスト審査会

令和6年10月19日(土)

議題 第67回 フィールドデーコンテスト審査会

令和6年12月21日(土)

議題 第45回 全市全郡コンテスト審査会

● コンテスト委員会電子ログ分科会

- ・ 審査会開催にあわせて、提出データ精査・集計を行う。

令和7年4月24日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
電磁環境委員会委員長 幸島 徹

令和6年度 電磁環境委員会の活動状況について（中間報告）

令和6年度の電磁環境委員会の活動状況について次のとおりご報告いたします。

1. 令和6年度に開催した委員会に開催状況

委員会の開催はありませんが、メール等を活用しての意見交換を行っている。

2. 総務省の作業班等への対応について

当委員会では、現在、総務省の作業班やアドホックグループについて次の会議等へ参画し、対応している。なお、開催概要等については、すでに報告しているので割愛することといたします。

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

5.2GHz 帯及び6GHz 帯無線 LAN 作業班

2.4GHz 帯無線 LAN 等の技術基準見直しアドホックグループ

対応：JA1OGZ 金子委員

直近の会議：令和5年2月22日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

短波帯デジタル固定局作業班

対応：JO1VVT 幸島

直近の会議：令和5年3月8日（水）

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会

高速電力線搬送通信設備作業班

対応：JO1VVT 幸島

直近の会議：最近、休眠状態ではあるが、再開されるとの情報あり

●超広帯域無線システム（7.25～10.25GHz 帯）の屋外利用の

周波数拡大等に向けた技術的条件に関する検討会

対応：JO1VVT 幸島

直近の会議：10GHzのアマチュアバンドが除外されオブザーバー参加に、しかし引き続き注視の必要はあり

●情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 ワイヤレス電力伝送作業班

対応：JO1VVT 幸島

直近の会議：令和6年3月27日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

76GHz帯小電力ミリ波レーダー高度化作業班

対応：JA1OGZ 金子委員

直近の会議：令和4年4月1日、最近では休眠中であるが動向は要注視

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

小電力システム作業班

対応：JO1VVT 幸島

直近の会議：令和6年8月27日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会

小電力システム作業班 TPMS・RKE システムアドホックグループ

対応：JO1VVT 幸島

直近の会議：令和6年3月1日

2. 年度を越えて検討を継続する事項等

前項の作業班やアドホックグループには、年度内で報告書のとりまとめを行い一旦収束するシステム等もありますが、ほとんどのシステムについては、機能の更新や拡張などを行い、短いものでは数ヶ月から長いものでは数年後に、作業班やアドホックグループが再開されることから長期間で各システムの動向を注視していかなければなりません。

以 上

令和7年4月25日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
周波数委員会委員長 小谷 元史

令和6年度 周波数委員会 活動報告（中間報告）

令和6年度の周波数委員会の活動状況について、以下のとおりご報告いたします。

1. 令和6年度の委員会の開催状況

令和6年度は委員会を開催していないが、昨年、IARU 第3地域 HF バンドプラン委員会からの 40m バンドプランの改善案を公表に対する会員向けに意見募集を行い、その結果をふまえて当委員会でメール等を活用した意見交換を行い、理事会へ答申を実施した。

2. 年度を越えて検討を継続する事項等について

IARU 第3地域のバンドプランワークショップに当委員会から2名の委員を参画させており、引き続き第3地域内での情報収集に努めることとし、また令和7年3月の総務省による「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別を定める告示の一部改正案に対する意見募集」について、その結果をふまえてJARL バンドプランの一部改正を検討していくこととしたい。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

ワイヤレスネットワーク委員会・令和6年度委員会報告

ワイヤレスネットワーク委員会
委員長 芝山 仁

当委員会の令和6年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおり
ご報告いたします。

第40回 令和6年11月13日(水)～令和6年11月25日(月)文書Eメール
議 題 ・D-STAR レピータ局開設・増設要望の審査と周波数選定
・アナログ(FM)レピータ局開設・増設要望の審査と周波数選定
・他方式レピータ局第2次答申案

決定事項

D-STAR および FM レピータ局開設・増設要望の審議結果

- ・【DVモード/430MHz帯】承認：5波、不承認：3波、保留：1件
- ・【DVモード/10.1GHz帯】承認：2波
- ・【FMモード/430MHz帯】承認：6波、不承認：1波

継続事項

「レピータ局（デジタル方式）での D-STAR 以外の通信方式について」に関
して、継続して検討しているが、諸課題の解決のため引き続き D-STAR 委員
会等と連携のうえ、検討を進める。

令和6年度通年処理件数

- ・新規開設等：14件
- ・移設等：9件
- ・代表者、緊急連絡者等変更：41件
- ・機器取替等：18件

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

D-STAR 委員会・令和 6 年度委員会報告

D-STAR 委員会
委員長 安田 聖

当委員会の令和 6 年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおり
ご報告いたします。

第 10 回 令和 6 年 6 月 27 日(木) 事務局会議室

- 議 題
- ・定款改正にともなう D-STAR ガイドライン改正案
 - ・他方式レピータに関する理事会からの諮問に対する D-STAR 委員会の
技術的意見について
 - ・管理サーバーへの接続に関する要望書の適否について
 - ・仕様書の改訂について（修正中の xchange の最終調整を含む）
 - ・管理サーバーへのグローバル IP を不要とする接続について

決定事項

- ・D-STAR ガイドラインの改正案を作成し、理事会に対し提案することとした。
（第 74 回理事会で承認され Web も変更済み）
- ・他方式レピータに関しては、技術的観点からの意見書をワイヤレスネットワー
ク委員会に通知することとした。（7 月 12 日付けで通知済み）
- ・管理サーバーへの接続に関する要望書の適否について検討したが、ユーザーア
プリの開発者が修正すべきであり、仕様の変更を行うべきではないという結
論に至った。（やみくもな接続を認めると管理サーバーが過負荷となり、動作
に支障を来すため、仕様書に沿ったアプリを開発してもらう必要がある。（現
に 2 月 9 日に過負荷で管理サーバーが停止し、委員は不眠不休で対応した））
- ・仕様書の改訂については、管理サーバー改修完了時に行うこととした。

継続事項

- ・xchange について、仕様書に定められた動作になるよう作業を継続する。
- ・レピータ以外のアクセスポイント・ターミナルモード等で D-STAR ネットワー
クへ接続するユーザーの利便性を向上させるため、管理サーバーへのグロー

バル IP を不要とする接続について引き続き作業を継続する。

参考事項

継続していた管理サーバーへのグローバル IP を不要とする接続については、管理サーバーの改修、試験も終了し、年度が変わった 4 月 15 日に第 11 回委員会を開催し、仕様書の改訂も併せて討議した。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

大阪・関西万博記念局実行委員会・令和6年度委員会報告

大阪・関西万博記念局実行委員会
委員長 田中 透

令和6年度の大阪・関西万博記念局実行委員会の開催はありませんでしたが、常にMLにて情報を共有し委員の意見を聞いて委員会を進めてまいりました。

大阪・関西万博開催に伴い特別なアマチュア局の開設に向けて2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）の主催者である公益社団法人2025年日本国際博覧会協会とのやり取りを次のとおりご報告いたします。

令和7年4月13日から同年10月13日までの間に、大阪府大阪市此花区の夢洲を会場に大阪・関西万博が開催に伴い、一般社団法人日本アマチュア無線連盟（JARL）では、関西地方本部役員ほかアマチュア無線家がボランティアで特別なアマチュア局（特別記念局）の運用・体験運用のサポートを行うために大阪・関西万博記念局実行委員会を構成しました。

同実行委員会では、大阪府で最大のビッグイベントの開催をアマチュア無線の交信を通じて関西万博の周知を積極的に行い、特別記念局と世界各国のアマチュア無線家との交信を通じて国際親善に寄与し、より一層のアマチュア無線家同士の相互理解を図ることを目的に、同協会と大阪・関西万博の会場内に特別記念局開設に向けて運用ブースやアンテナ設置をするために、出展者向けのポータルサイトを使用して折衝しました。

特別記念局の運用ブースでの運用や、設置場所に設置された無線機をリモート運用の形態で折り合いが付き、同協会とJARLは正式に役務提供の契約を締結しましたのでJARLは近畿総合通信局に免許申請書を提出しました。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

会長 森田 耕司 殿

100 周年記念事業ワーキンググループ報告

100 周年記念事業ワーキンググループ

委員長 森田耕司

当ワーキンググループの令和6年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

(1) 第0回(事前準備会) 令和6年12月4日 20時より オンラインにて

(ア) 出席: JA5SUD (森田委員長)、JR1DTN (佐藤委員)、JR1LQK (土屋委員)、JK1OZS (勝呂委員)、JA4DND (松浦委員)

(イ) 議題

① 全体方針について

「JARL 設立 100 周年」(2026 年)と「日本におけるアマチュア無線 100 周年」の2年間にわたり記念事業を実施することを確認した。

② 役割分担について

1. 委員の担当を、記念局担当: 松浦、コンテスト担当: 土屋、アワード担当: 佐藤、記念式典等イベント・全体調整: 勝呂 とした。
2. 必要に応じて委員の増員を行うことを確認。

(2) 第1回 令和6年3月24日 20時より オンラインにて

(ア) 出席: JA5SUD (森田委員長)、JG1XLV (荒井委員) JR1DTN (佐藤委員)、JR1LQK (土屋委員)、JK1OZS (勝呂委員)、JA4DND (松浦委員)、JH4PHW (坂井委員)

(イ) 議題

① 委員の増強について

新たに、IT・システム支援担当: 坂井委員、記念誌担当: 荒井委員の2名が委員として参加。

② 記念局運用について

基本方針(約1年間各都道府県での持ち回り運用、公募方式、ClubLog等との連携を図る)について確認し、詳細は今後さらに検討することとなった。

③ コンテストについて

記念局の概要が固まり次第、詳細な検討を進める予定。

④ アワードについて

コンテスト同様、記念局の概要が固まり次第、詳細な検討予定。

⑤ 記念誌について

年表形式に加え、“読んで面白い内容の記念誌”を志向し、編集方針を策定することとなった。

⑥ ロゴ・キャッチフレーズ・記念サイトについて

1. 既に決定されている JARL100 周年ロゴに加え、アマチュア無線 100 周年のロゴとキャッチフレーズの検討経過を共有。
2. 記念サイトについては、JARL.org 改編と連携しサイト設計を進める方針とした。

以 上

令和7（2025）年5月11日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 JA5SUD 森田耕司 殿

常務理事（総務担当） 7K1BIB 山内貴博

地方本部長・支部長連絡会議
令和6年度報告

令和6年度における地方本部長・支部長連絡会議の開催状況につき次のとおり報告いたします。

I. 「地方本部長・支部長連絡会議」の創設

「地方本部長・支部長連絡会議」は、令和6（2024）年11月23日開催の第76回理事会において設立が承認されました。地方組織の事業に関する情報共有と意見交換、及び地方組織の事業運営に関する理事会への提言等を目的とするものです。

II. 地方本部長・支部長連絡会議の開催状況

1. 第1回 2025年2月24日（月・祝） オンラインにて
 - (1) 第1部 16時～18時 参加者108名
 - ・ JARL Web 及び JARL News の再構築案（特に「地方だより」）について（坂井常務）
 - ・ 「地方会計事務処理規程」の解説（武藤監事）
 - ・ ボーイスカウト社団局への助成について（田中理事）
 - (2) 第2部 20時～ 参加者72名
 - ・ オンライン懇親会（自由参加のフリートーク）
2. 第2回 2025年夏～秋にオンラインにて開催予定

III. 分科会の開催状況

1. 監査長分科会（詳細は監査長分科会の報告書をご参照）
 - (1) 第1回会合 2025年1月24日 オンライン
 - (2) 第2回会合 2025年3月15日 オンライン

以上

令和 7 (2025) 年 5 月 11 日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 JA5SUD 森田耕司 殿

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
監査長分科会・進行役
関東地方本部 監査長 JH10HZ 片倉由一

監査長分科会 令和 6 年度報告

1. はじめに

地方本部組織運営規程第 10 条 6 による、監査長分科会（地方本部長+監査長）を通じて、監査指導業務に関する情報交換と、業務改善について意見交換が有効に行われるようになりました。

第 1 回会合 2025 年 1 月 24 日 オンライン

第 2 回会合 2025 年 3 月 15 日 オンライン

2. 新ガイダンス局のメッセージの検討

第 1 回監査長分科会(令和 7 年 1 月 24 日)、第 2 回監査長分科会(令和 7 年 3 月 15 日)の Web 会議を通じ、新ガイダンス局のメッセージについて検討した結果、有効な意見が出され、案として纏めることができました。

新ガイダンス局に反映して頂きたいとお願いいたします。

3. 監査長分科会での今後の検討課題

現状の監査指導業務は平成 14 年に JARL 組織大改革は行われましたが、監査指導委員会がなくなり、地方本部⇒支部下での活動となりましたが、基本的にそれまでの業務が継続され、現在に至っています。第 1 回、第 2 回監査長分科会では、監査指導業務や体制について改善に向けた意見もでていることから、引き続き検討を重ねていきたいと考えます。

(付記)

新ガイダンス局は早期に導入して頂きたいとお願いいたします。
また仕様が決まりましたら、お教えください。

以上

